

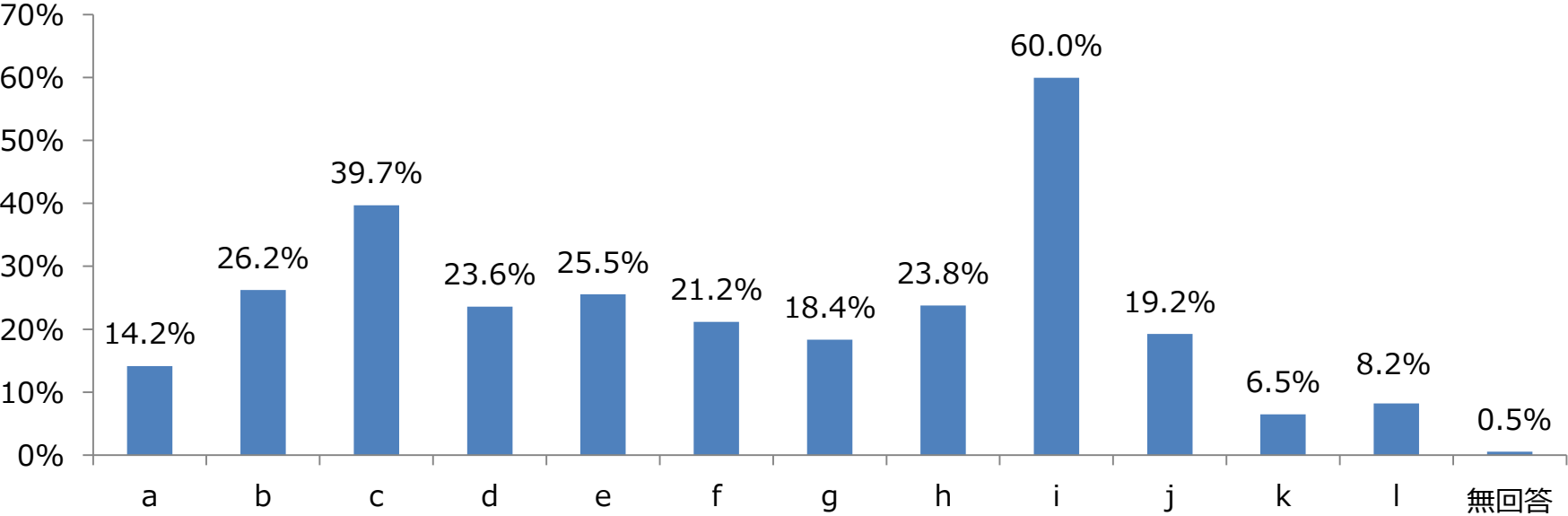
株式価値向上に向けた取り組みに関するアンケート (平成28年度版)

企業様向け

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(1) ①コーポレートガバナンス・コードの策定を受けて、持続的な成長と中長期的な株式価値向上の観点から変更もしくは強化した取り組みをお答え下さい。(複数選択可)

- a. 機関設計
- b. 取締役会の人数・構成
- c. 独立した社外役員
- d. 経営幹部の指名手続き
- e. 役員報酬決定体系
- f. 投資家との対話方針
- g. 経営計画・経営戦略
- h. 情報開示
- i. 取締役会の実効性の評価
- j. 株主総会運営
- k. 特段なし
- l. その他(具体的には)



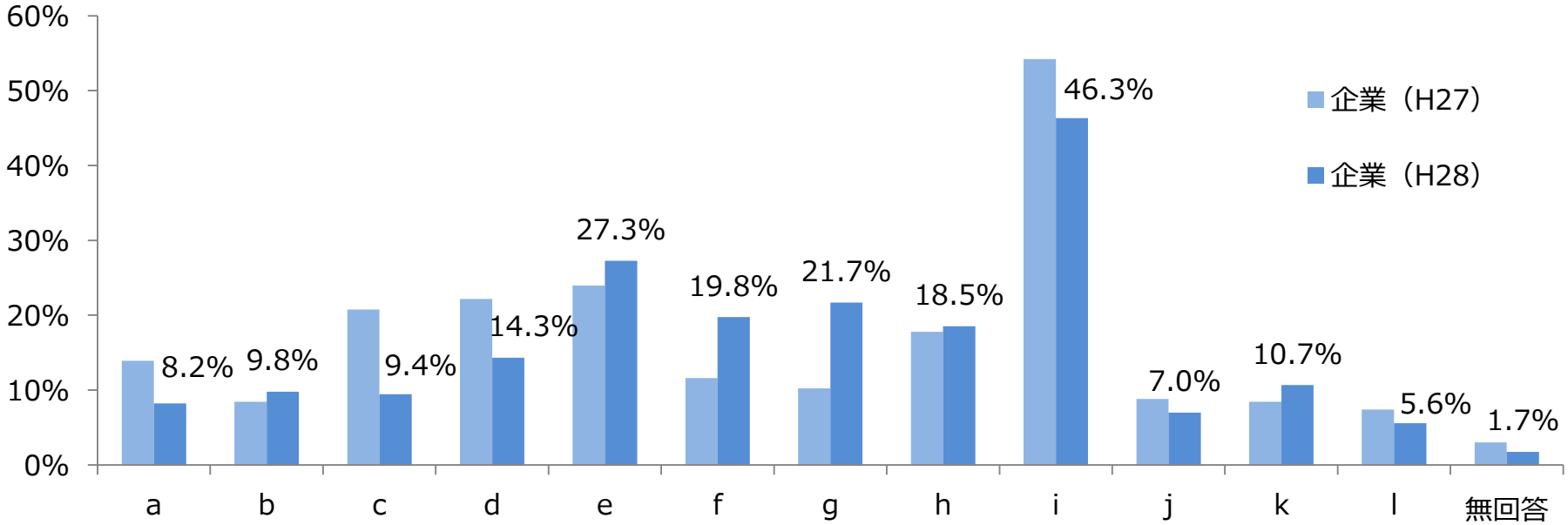
(回答数:H28年度:572)

「その他」の回答例：社外取締役への支援の拡充、内部通報制度の拡充、政策保有株式の保有意義の検証、招集通知の英訳 他

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(1) ②コーポレート・ガバナンスに関して課題に感じていること、もしくは今後特に取り組みを強化しようとしていることをお答え下さい。(3つまで選択可)

- a. 機関設計
- b. 取締役会の人数・構成
- c. 独立した社外役員
- d. 経営幹部の指名手続き
- e. 役員報酬決定体系
- f. 投資家との対話方針
- g. 経営計画・経営戦略
- h. 情報開示
- i. 取締役会の実効性の評価
- j. 株主総会運営
- k. 特段なし
- l. その他(具体的には)

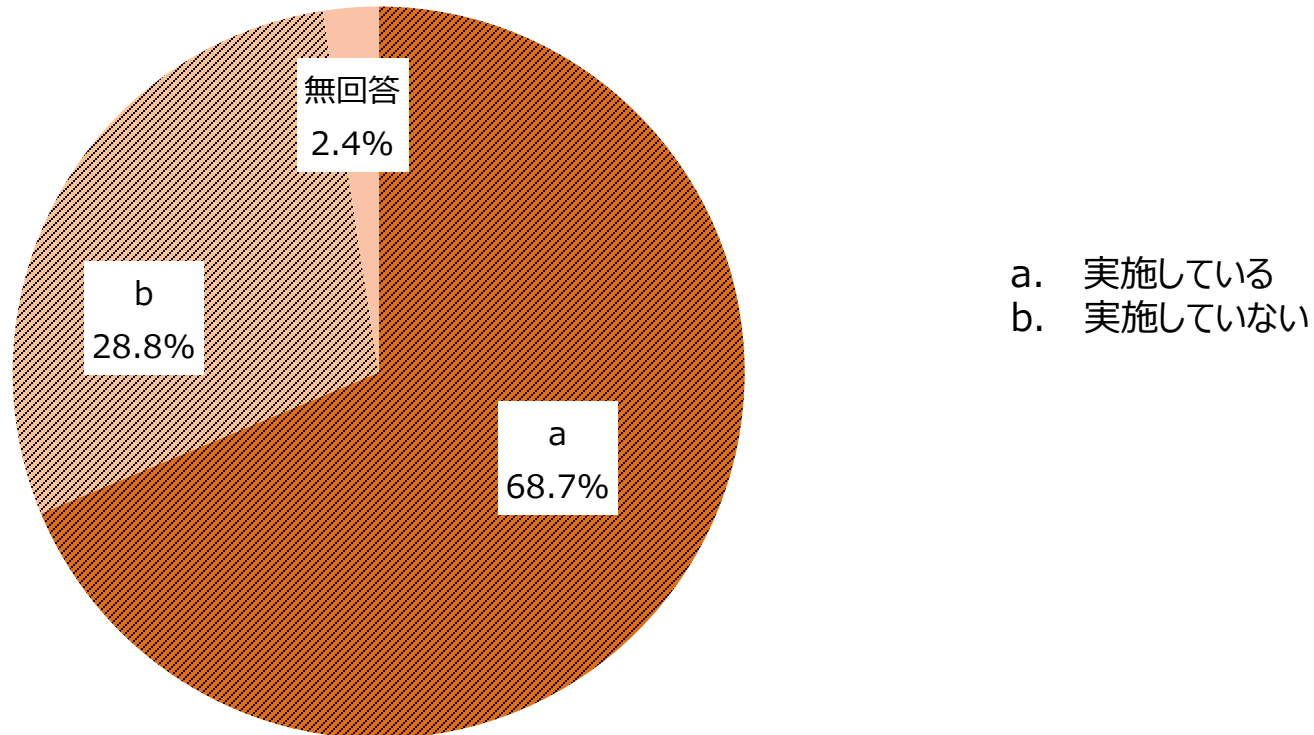


(回答数:H28年度:572, H27年度:568)

「その他」の回答例：取締役・監査役のトレーニング、取締役会の運営、社長候補人材の育成プロセス 他

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

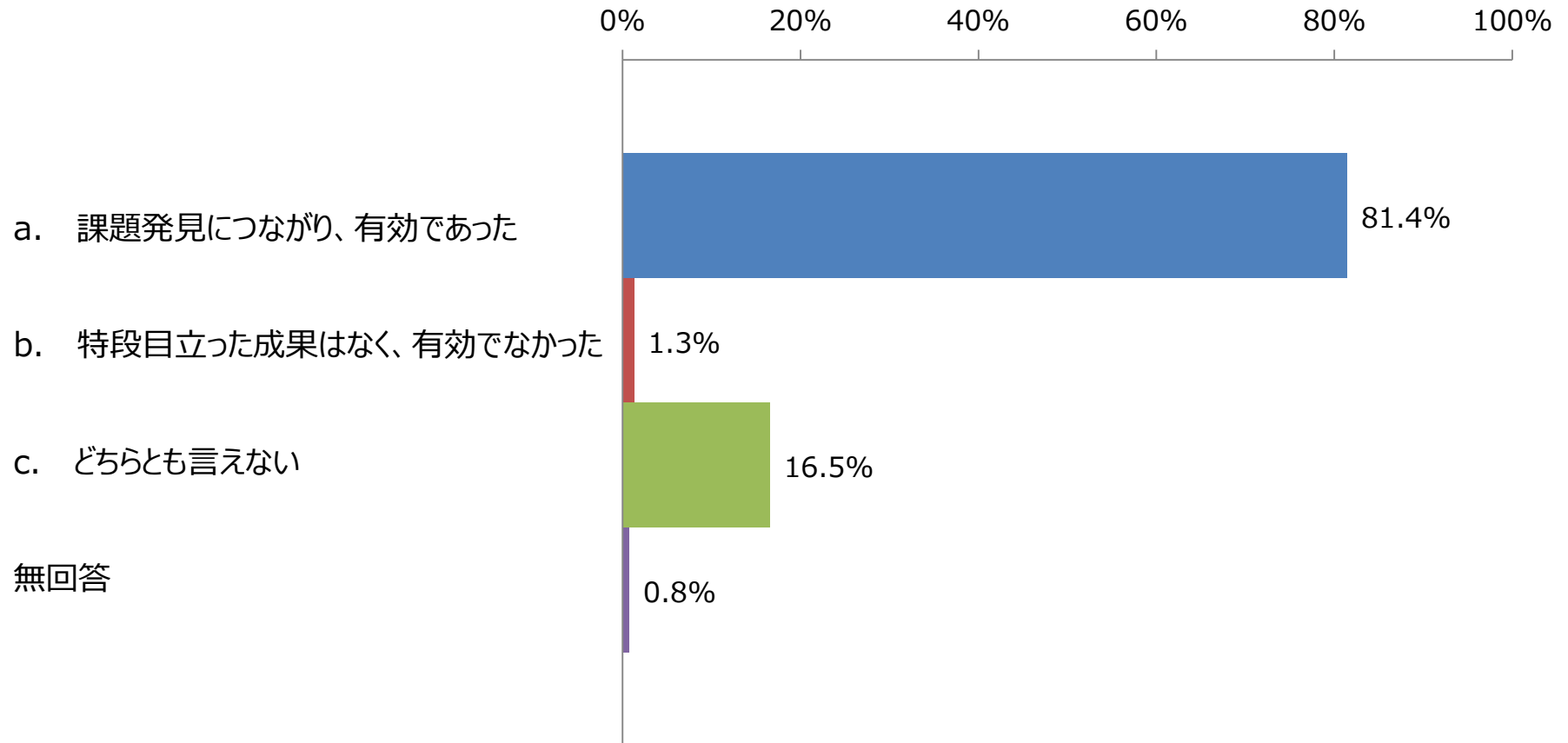
(2) ①取締役会評価を実施していますか。(1つのみ選択可)



(回答数:H28年度:572)

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

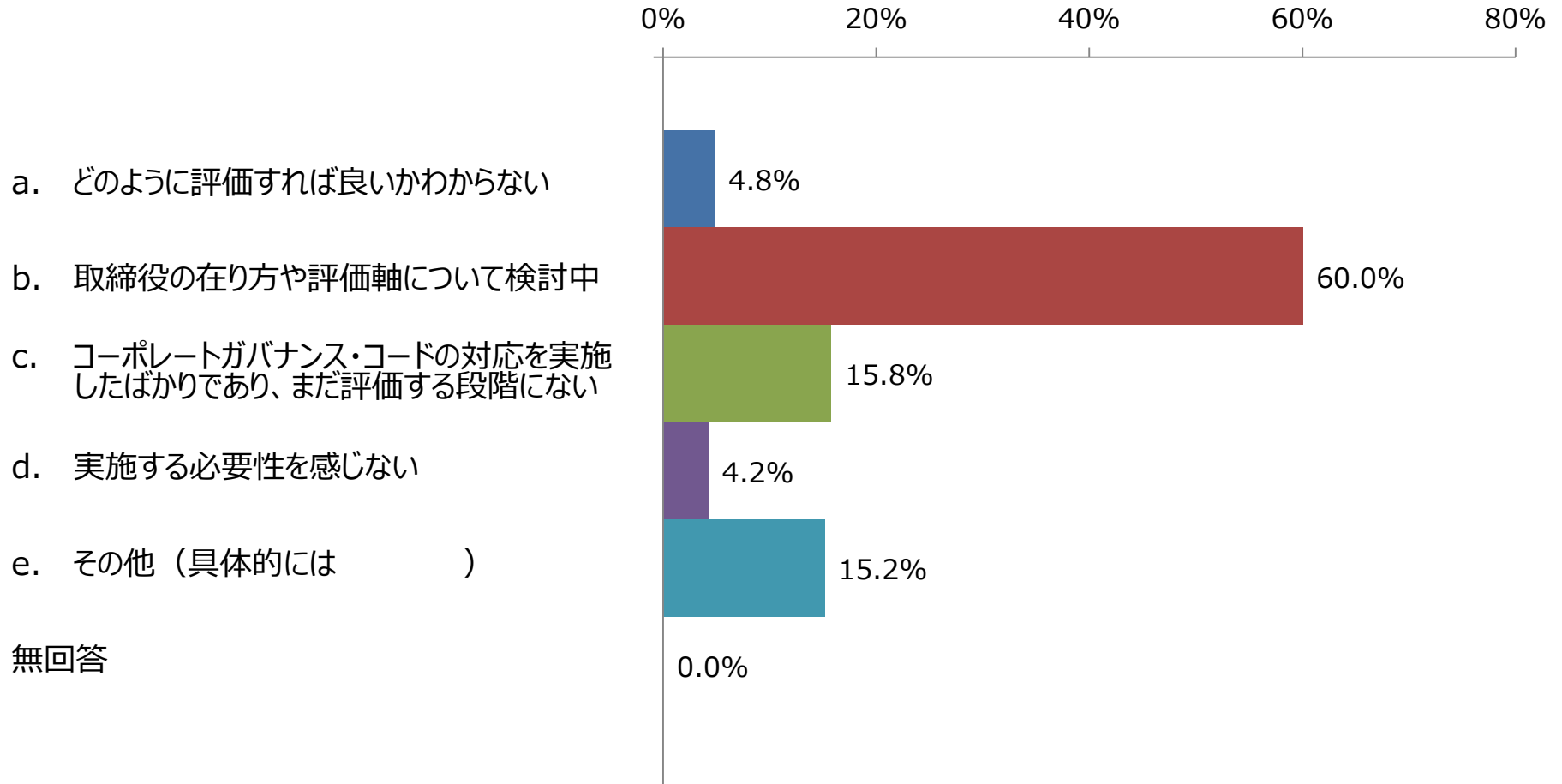
(2) ② (取締役会評価を) 実施している場合は、コーポレート・ガバナンス向上の観点から有効であると感じるかお答えください。(1つのみ選択可)



(回答数:H28年度:393)

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(2) ③ (取締役会評価を) 実施していない場合は、その理由をお答え下さい。(1つのみ選択可)



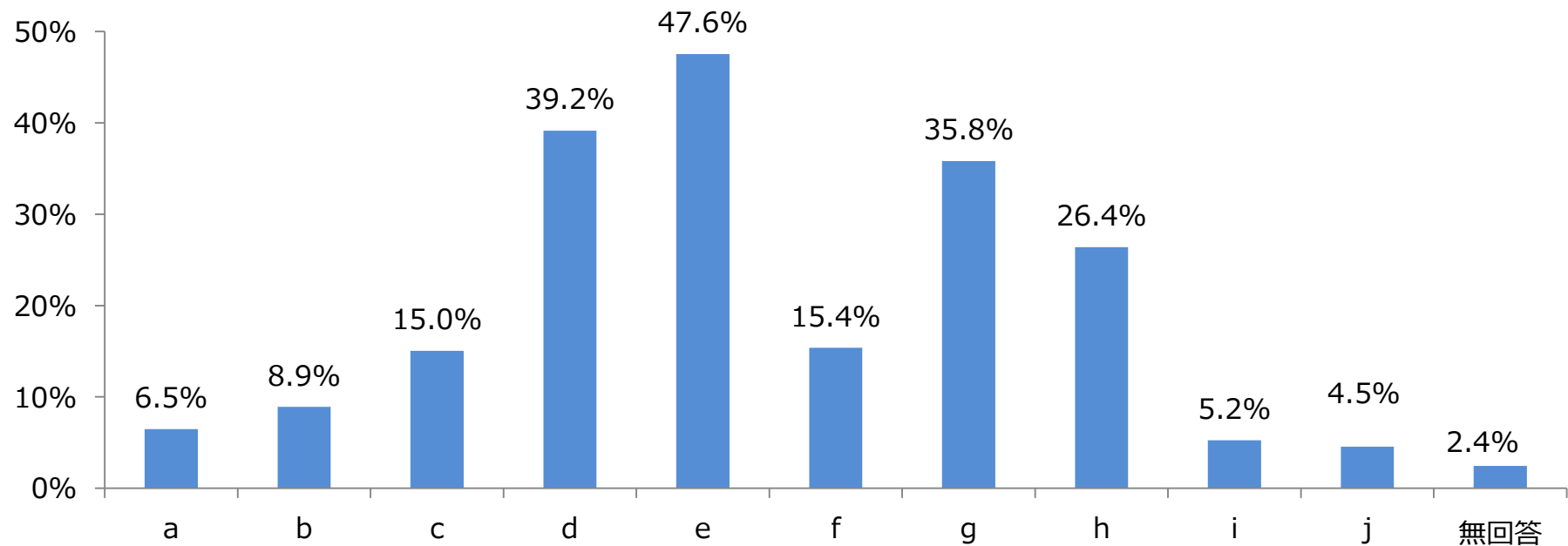
(回答数:H28年度:165)

「その他」の回答例：当期に実施予定 他

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(3) 取締役会の実効性向上に向けて、現時点で課題に感じていること、もしくは今後特に取り組みを強化しようとしていることをお答えください。(3つまで選択可)

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| a. 機関設計 | f. 投資家意見の取締役会へのフィードバック |
| b. 社外役員の拡充 | g. 取締役会議題の事前説明の充実 |
| c. 取締役会全体の経験や専門性のバランス | h. 取締役に対するトレーニング |
| d. 社外役員が機能発揮できる環境整備 | i. 特段なし |
| e. 上程議案見直し・絞り込みによる重要事項に関する議論の充実 | j. その他(具体的には) |



(回答数:H28年度:572)

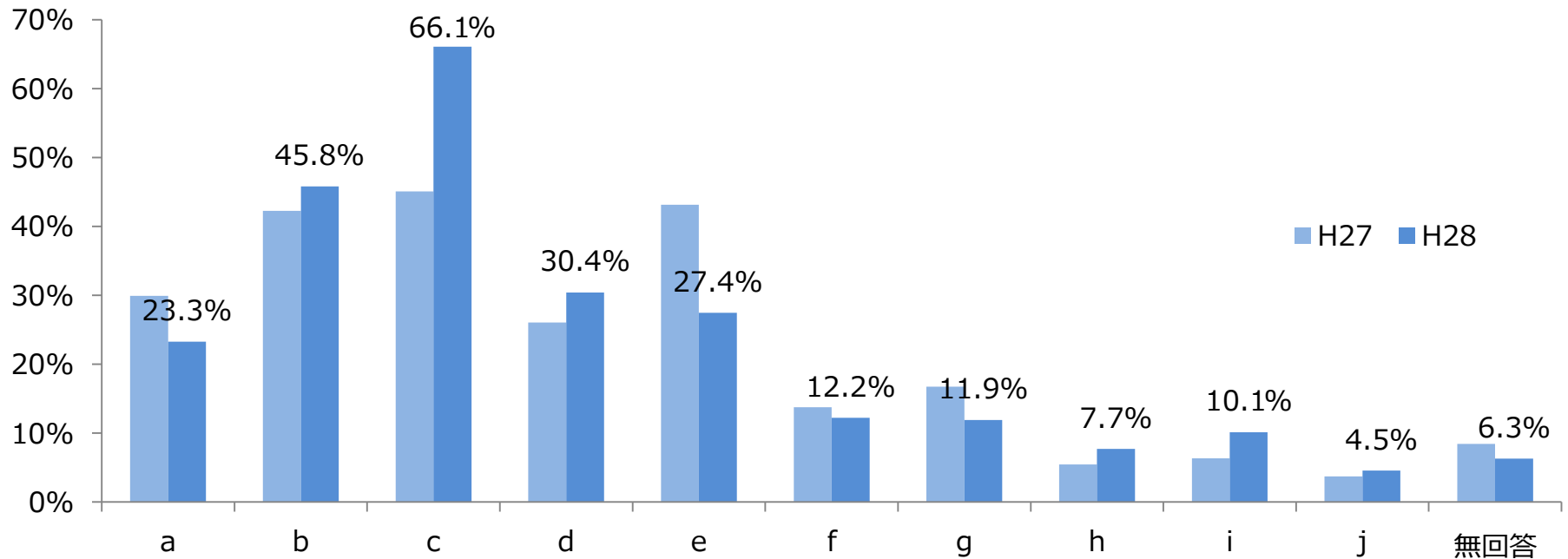
「その他」の回答例：付議資料の見直し、外部機関による評価 他

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(4) 取締役会の議題として、今後より重点的に取り上げたいテーマをお答え下さい。
(複数選択可)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| a. 決算・業績の進捗・振り返り (※) | f. 投資家との対話内容 |
| b. 経営目標・指標の適切性 | g. コンプライアンス関連 |
| c. 経営戦略立案 | h. 役員報酬 |
| d. リスク管理 | i. 人事・人材管理 |
| e. コーポレート・ガバナンス体制 | j. その他 (具体的には) |

※選択肢の修正あり (H27の選択肢「決算」、「業績の進捗・振り返り」を一元化)



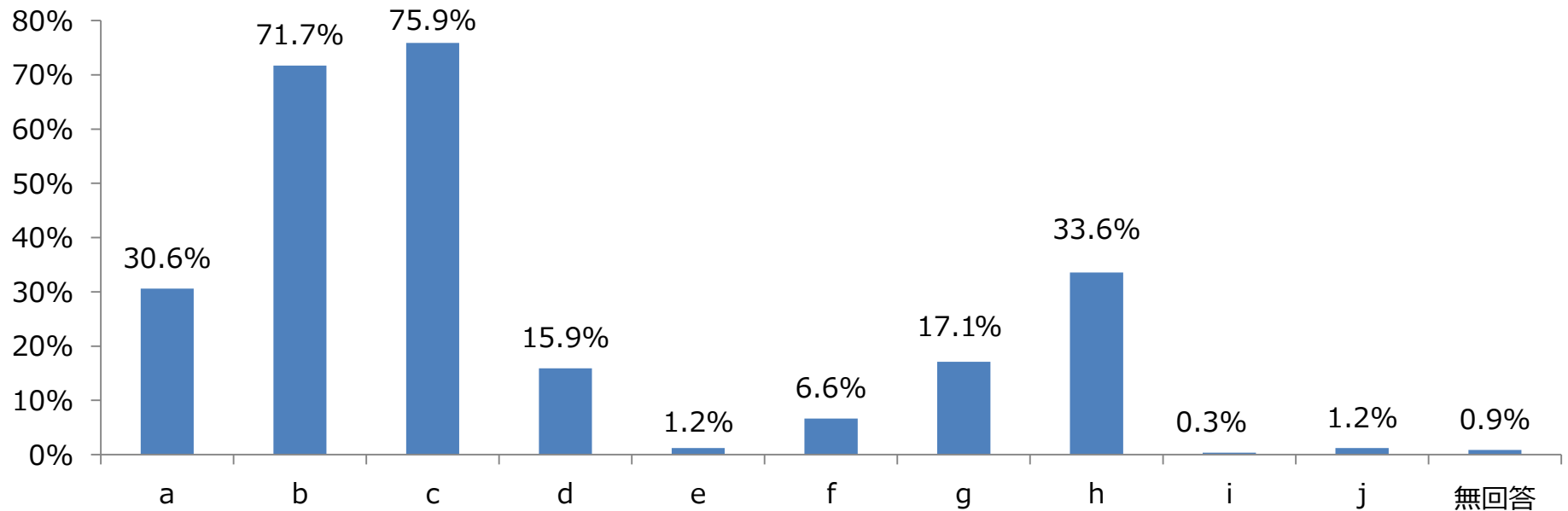
(回答数:H28年度:572, H27年度:568)

「その他」の回答例：M&A戦略、各種施策のモニタリング、グループ管理体制 他

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(5) 社外取締役に期待している役割の中で特に重要だと感じるものをお答えください。(3つまで選択可)

- a. 経営陣の評価（選解任・報酬）への関与・助言
- b. 経営執行に対する助言
- c. 経営戦略・重要案件等に対する意思決定を通じた監督
- d. 不祥事の未然防止に向けた体制の監督
- e. 投資家との対話
- f. 利益相反行為の抑止
- g. 少数株主をはじめとするステークホルダーの意見を経営に反映
- h. 会計や法律等の専門家としての助言
- i. 特に期待しておらず選任していない
- j. その他（具体的には ）



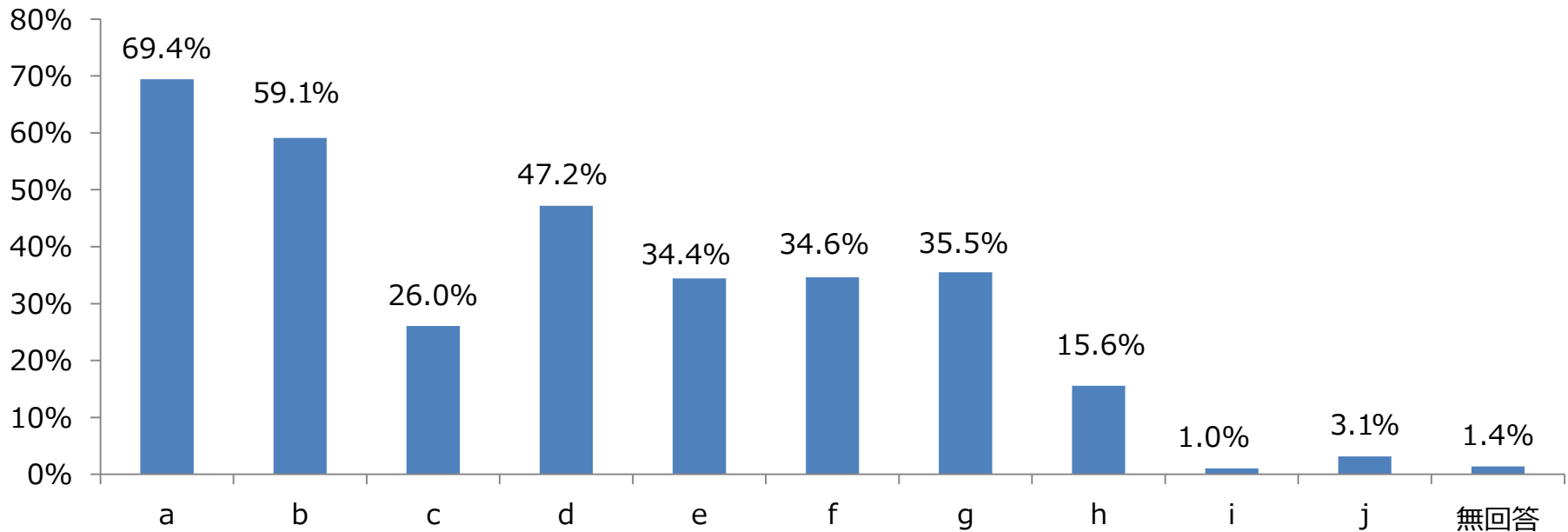
(回答数:H28年度:572)

「その他」の回答例：第三者視点からの意見、経営の健全性の担保 他

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(6) 社外取締役を選任している企業にお伺いします。社外取締役の機能発揮に向けて実施している取り組みをお答え下さい。(複数選択可)

- a. 社外取締役に対する取締役会議題の事前説明の充実
- b. 社外取締役の独立性の確保
- c. 社外取締役の経営会議・執行役員会議等への出席
- d. 社外取締役と経営トップ（社長等）との定期的な意見交換会の実施
- e. 社外取締役同士の定期的な意見交換会の実施
- f. 経営理解促進を目的とした取り組みの実施
- g. 指名・報酬等の検討を行う諮問委員会の活用
- h. 社外取締役の取締役会における比率向上
- i. 特段なし
- j. その他（具体的には ）



(回答数:H28年度:572)

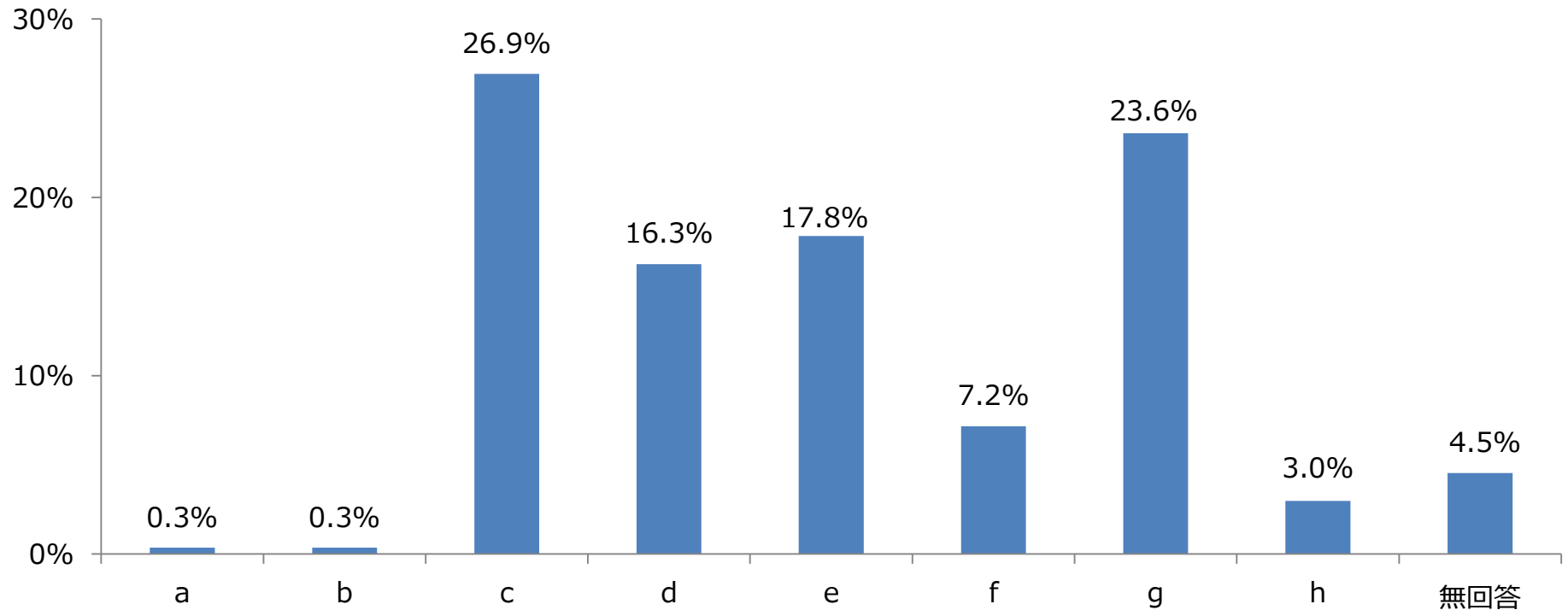
「その他」の回答例：社外役員同士の意見交換会の実施、社外取締役の活動をサポートする担当者の設置、社外取締役と投資家のスモールミーティングの実施 他

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(7) 社外取締役の人数・取締役会に占める比率について、中長期的に望ましいと思う水準をお答え下さい。(1つのみ選択可)

- a. 0名
- b. 1名以上
- c. 2名以上
- d. 3名以上

- e. 取締役会の1/3以上
- f. 取締役会の1/2以上
- g. 数・比率には拘らない
- h. その他(具体的には)



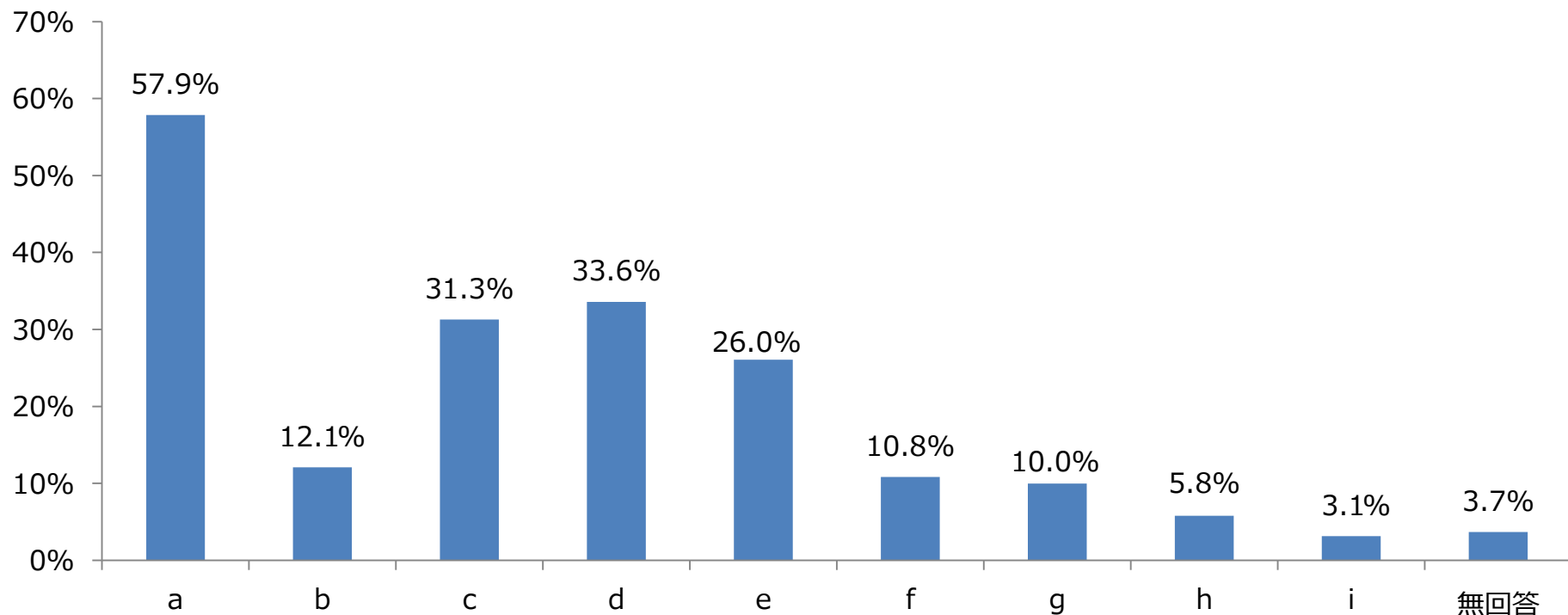
(回答数:H28年度:572)

「その他」の回答例：2～3名、4名 他

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(8) 中長期的な株式価値向上の観点から、役員報酬について特に重視していることをお答え下さい（※執行に携わる社内取締役を想定）。（3つまで選択可）

- a. 中長期業績との連動性（株式報酬等長期インセンティブの導入）
- b. 競合他社との比較
- c. 全体に占める業績連動報酬の割合
- d. 業績連動指標の適切性
- e. 過度なリスクテイクや近視眼的な経営を誘発しない制度設計
- f. 業績や株価には表れない定性的な評価
- g. 安定的な報酬体系
- h. 特段なし
- i. その他（具体的には ）



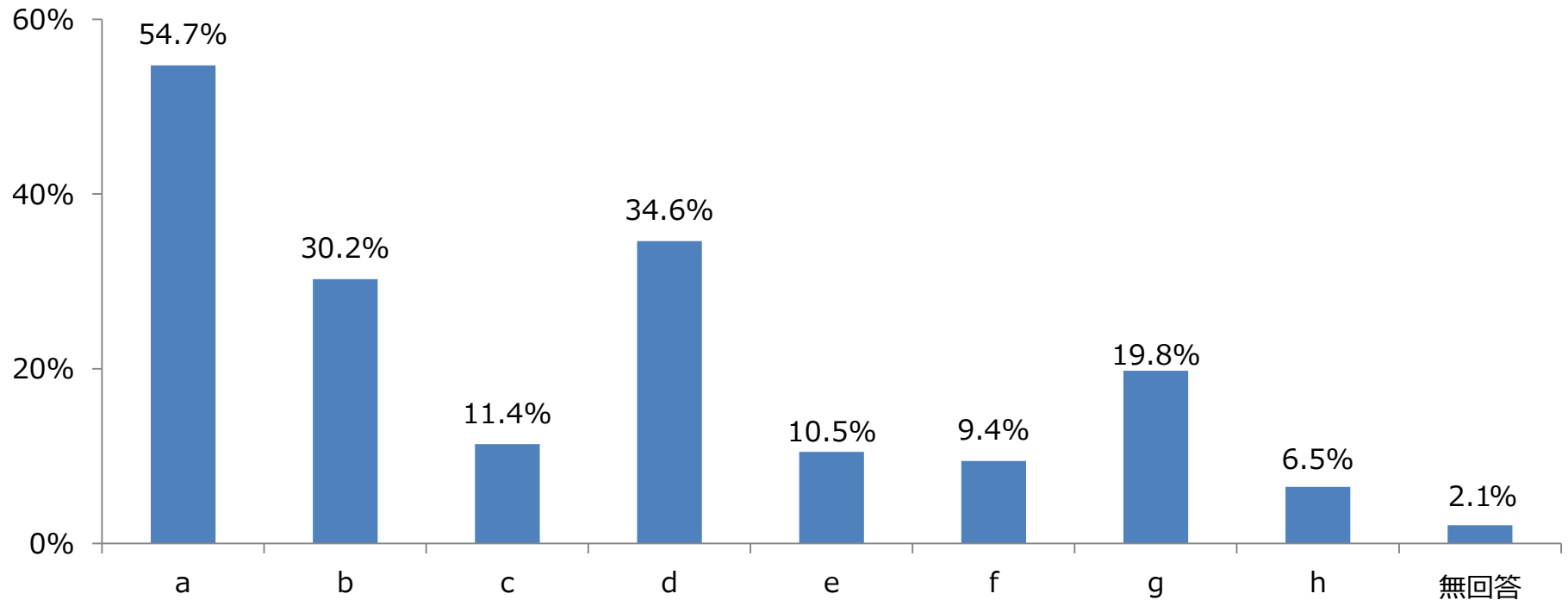
(回答数:H28年度:572)

「その他」の回答例：賞与における業績の反映 他

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(9) 役員報酬について開示している項目をお答え下さい。(複数選択可)

- a. 役員報酬の設計思想・目的
 b. 報酬水準に対する考え方
 c. 基本報酬、年次賞与、長期インセンティブ等の組み合わせの比率とその考え方
 d. 業績連動報酬（年次賞与、長期インセンティブ等）の仕組みとその考え方
 e. 業績連動報酬（年次賞与、長期インセンティブ等）における具体的な評価指標
 f. 経営トップ等個別の報酬額
 g. 特段なし
 h. その他（具体的には ）

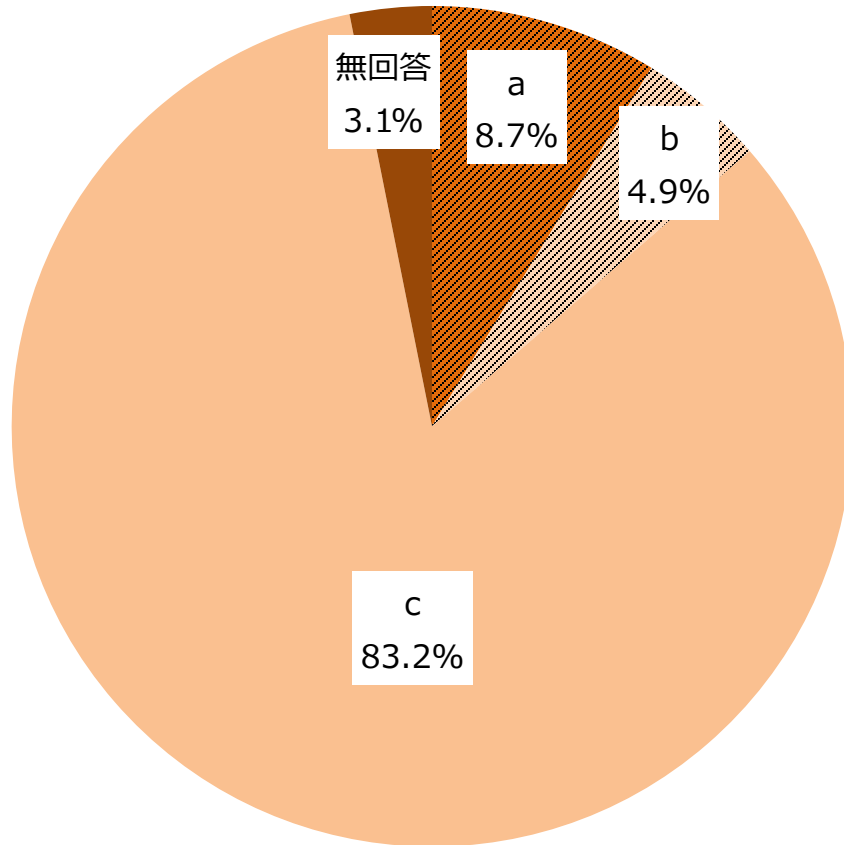


(回答数:H28年度:572)

「その他」の回答例：1億円以上の役員、報酬額と算定方法の決定方針、役員報酬の総額 他

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(10) ①役員退職慰労金制度を有していますか。(1つのみ選択可)

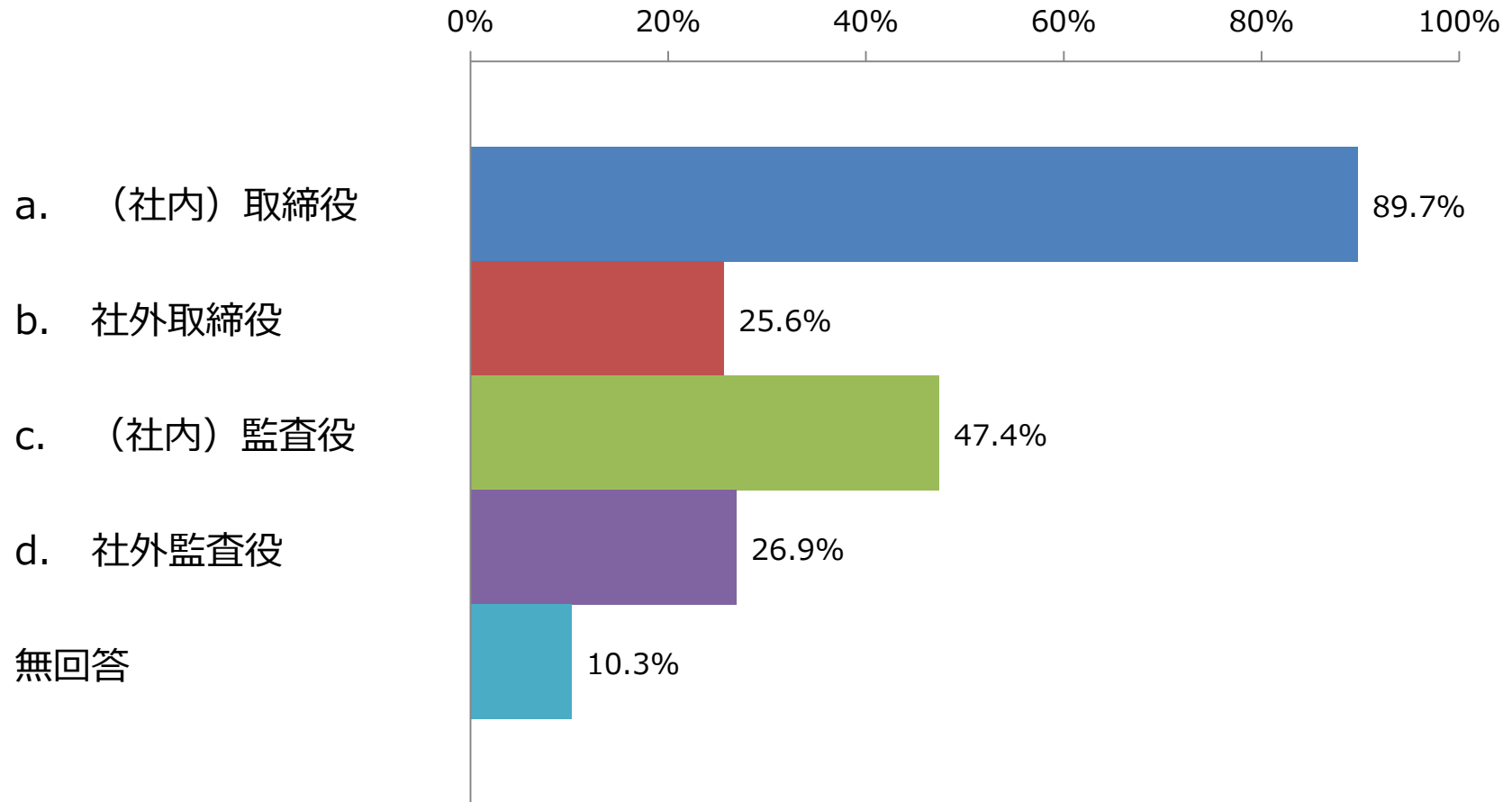


- a. 有している
- b. 有しているが、打ち切りを決定済み
- c. 有していない

(回答数:H28年度:572)

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(10) ② (役員退職慰労金制度を) 有している場合、制度の対象者をお答え下さい。(複数選択可)

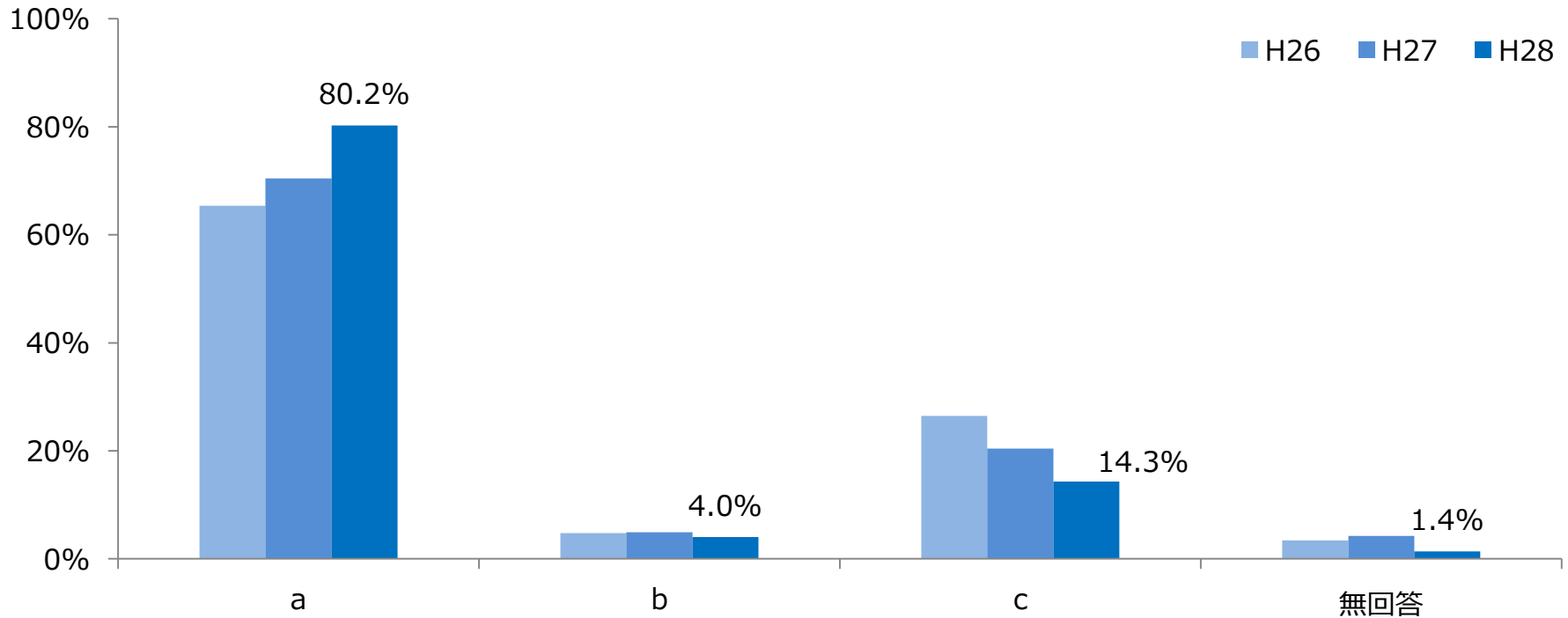


(回答数:H28年度:78)

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(1) ①中期経営計画、及び中期経営計画内で数値目標を公表していますか。
(1つのみ選択可)

- a. 中期経営計画を公表しており、その中で数値目標も公表している
- b. 中期経営計画は公表しているが、数値目標は公表していない
- c. 中期経営計画を公表していない

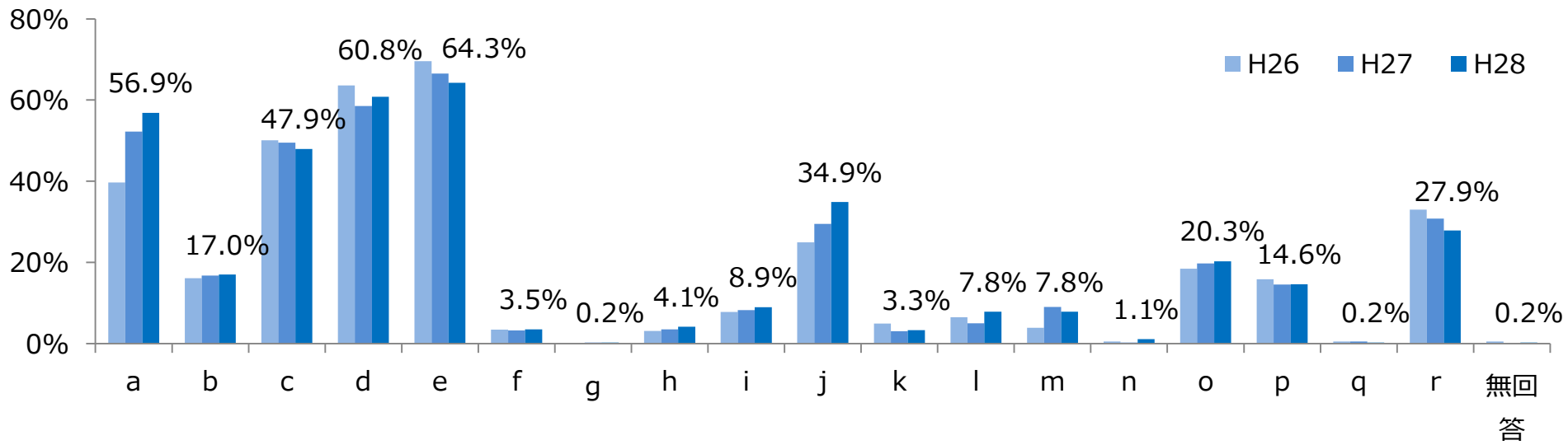


(回答数:H28年度:572, H27年度:568, H26年度:589)

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(1) ②中期経営計画を公表している場合は、公表している具体的指標を全てお答え下さい。
(複数選択可)

- a. ROE (株主資本利益率)
- b. ROA (総資本利益率)
- c. 売上高利益率
- d. 売上高・売上高の伸び率
- e. 利益額・利益の伸び率
- f. 市場占有率 (シェア)
- g. 経済付加価値 (EVA®)
- h. ROIC (投下資本利益率)
- i. FCF (フリーキャッシュフロー)
- j. 配当性向 (配当/当期利益)
- k. 株主資本配当率 (DOE) ($DOE = ROE \times \text{配当性向}$)
- l. 配当総額または1株当たりの配当額
- m. 総還元性向 ((配当 + 自己株式取得) / 当期利益)
- n. 配当利回り (1株当たり配当/株価)
- o. 自己資本比率 (自己資本/総資本)
- p. DEレシオ (有利子負債/自己資本)
- q. 資本コスト (WACC等)
- r. その他 (具体的には)



(回答数:H28年度:459, H27年度:400, H26年度:385)

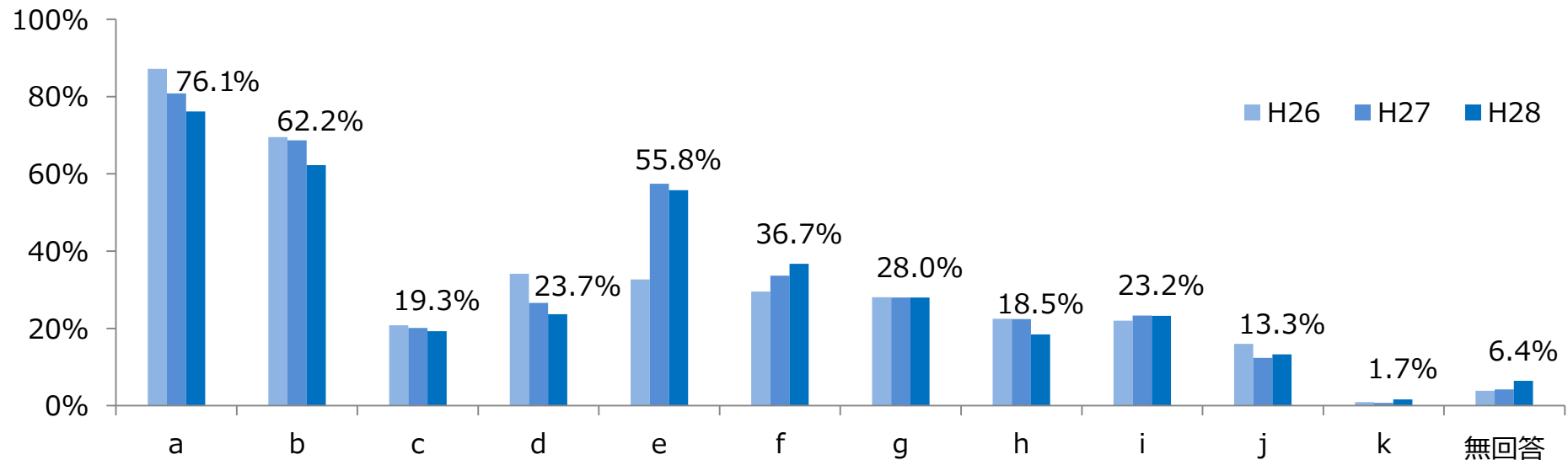
「その他」の回答例：EPS、EBITDA、営業キャッシュフロー、海外売上高比率 他

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(2) (1) ①で a 又は b を選択された企業にお伺いします。中期経営計画の内容充実に向けて、重視しているものをお答え下さい。(複数選択可)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| a. 長期的な経営ビジョン・スタンスの説明 | g. 資金使途（設備投資、研究開発等）の説明 |
| b. 具体的な数値目標の設定 | h. 財務方針の説明（自己資本比率等） |
| c. 達成確度の高い現実的な目標設定 | i. 計画の途上評価と見直しの実施（計画のローリング） |
| d. 計画達成に向けた組織・グループ体制の説明 | j. 計画期間内での段階的な目標設定 |
| e. 事業環境や見通しに関する分析を踏まえた戦略の策定（※） | k. その他（具体的には |
| f. 株主還元方針の説明 | |

※選択肢の修正あり（H26は「事業環境や見通しに関する分析結果の説明」）



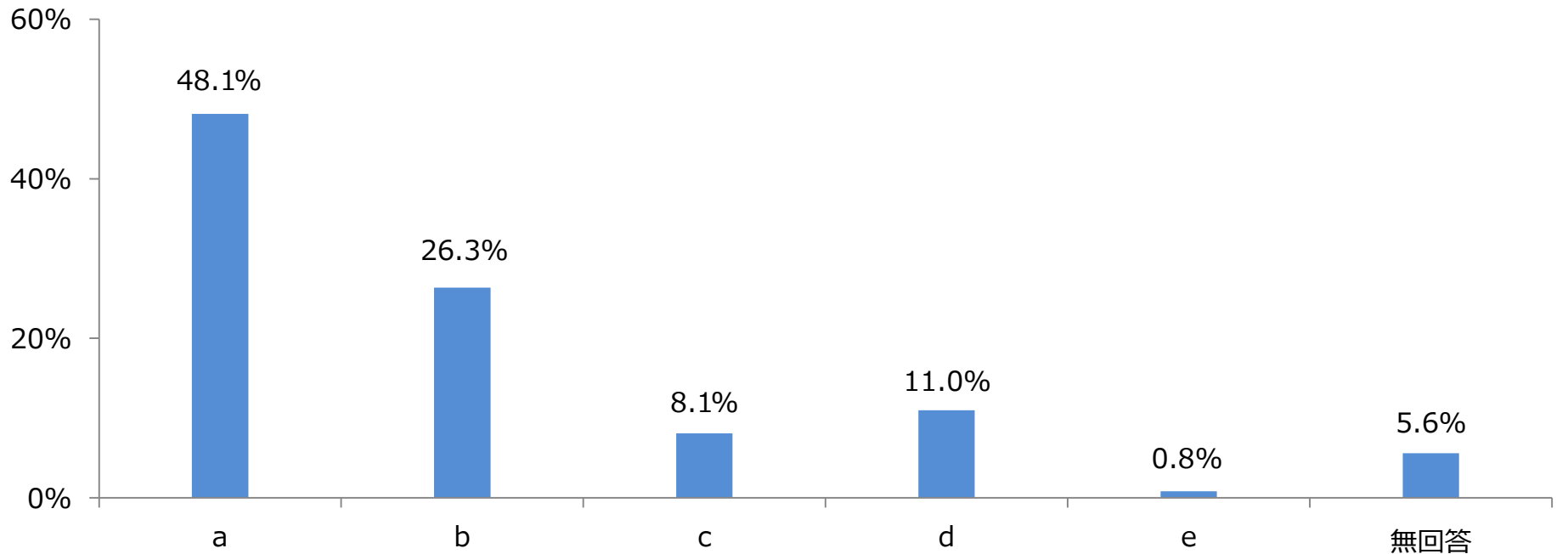
(回答数:H28年度:482, H27年度:428, H26年度:413)

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(3) (1) ①で a 又は b を選択された企業にお伺いします。策定・公表されている経営計画や経営ビジョンの時間軸についてお答え下さい（中期経営計画に加えて、VISION2020 /2025等の長期経営ビジョンを策定・公表されている場合は、より長い方の時間軸を選択して下さい）（1つのみ選択可）

a. 1～3年
b. 4～5年
c. 6～9年

d. 10年以上
e. その他（具体的には ）



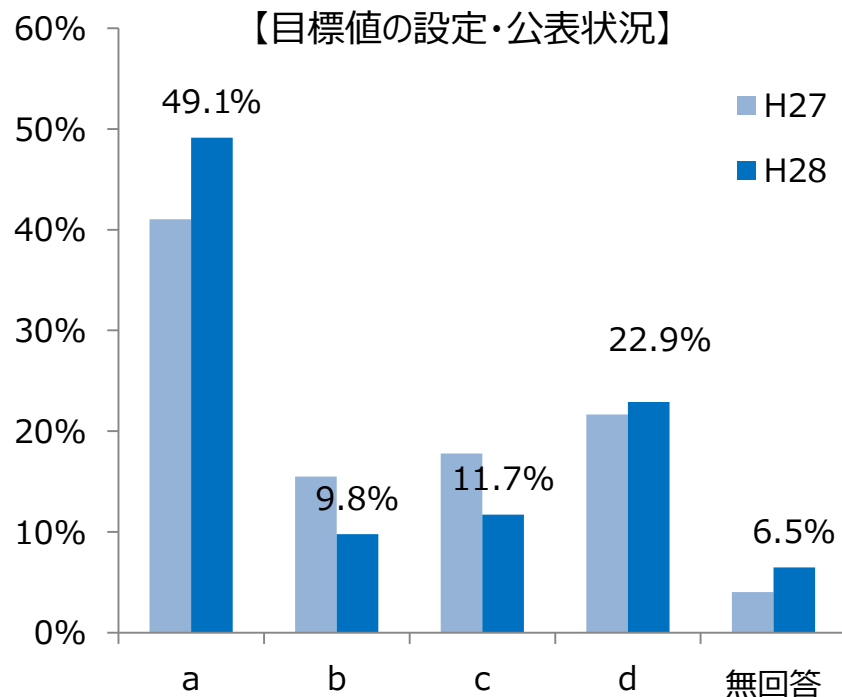
(回答数:H28年度:482)

「その他」の回答例： 3年以降、7年先 他

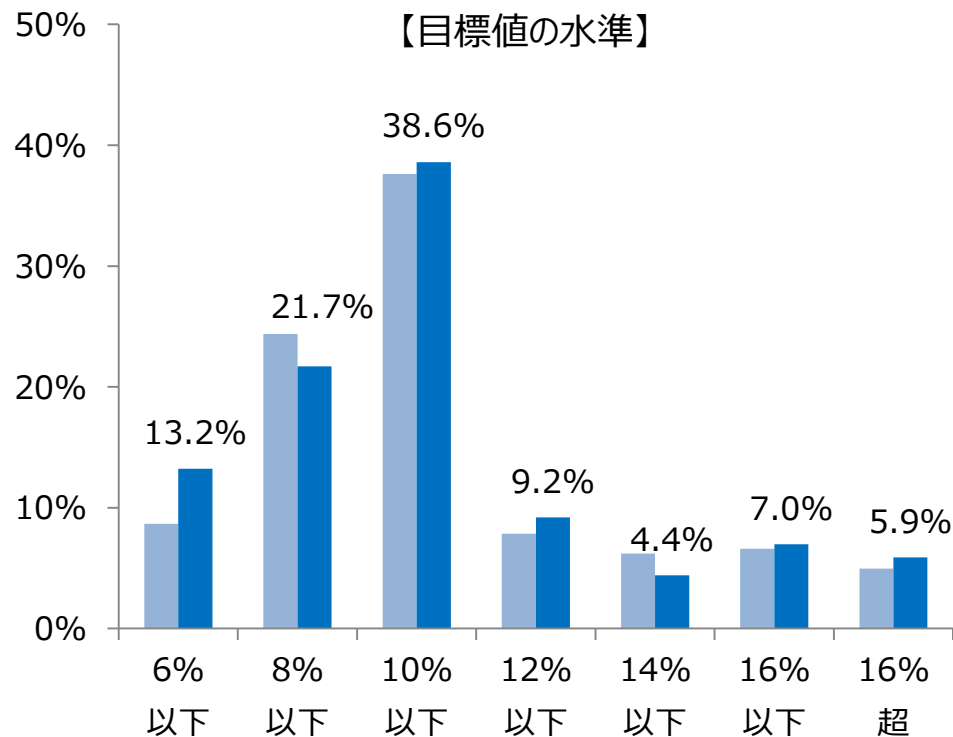
Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(4) ① R O E の目標値を設定・公表していますか。設定している場合は目標値の水準をお答え下さい。(1つのみ選択可)

- a. 目標値を設定して、公表している
- b. 目標値は設定しているが、公表していない
- c. 目標値は設定していないが、設定の検討をしている
- d. 目標値は設定しておらず、設定の検討もしていない



(回答数:H28年度:572, H27年度:568)

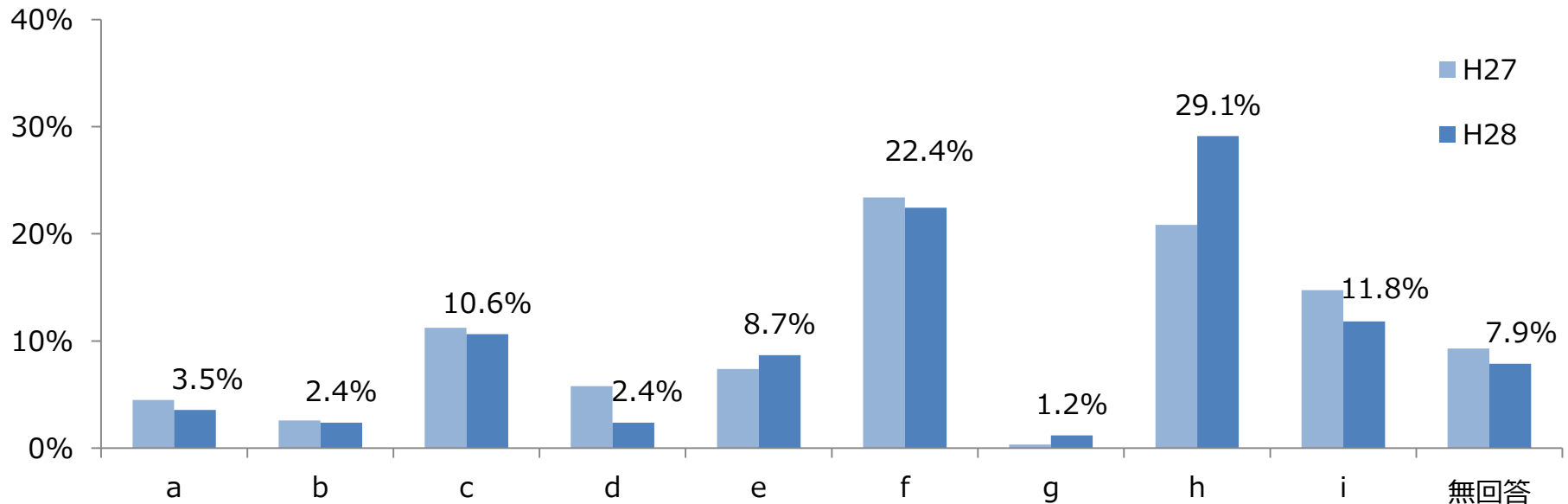


(回答数:H28年度:272, H27年度:242)

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(4) ② R O E の目標値を公表していない、または設定していない場合は、その理由をお答え下さい。(1つのみ選択可)

- a. 重要な指標と考えていない
- b. 特別損益の影響で振れ幅が大きい
- c. 今後の事業環境の見通しや会社戦略の確度が低い等の理由で設定が困難
- d. 現行水準が低く、目標設定意義が薄い
- e. 財務体質の改善を優先している
- f. 利益の絶対額を重視している
- g. 利益よりもキャッシュフローを重視している
- h. R O E 以外の指標を設定している
- i. その他 (具体的には)



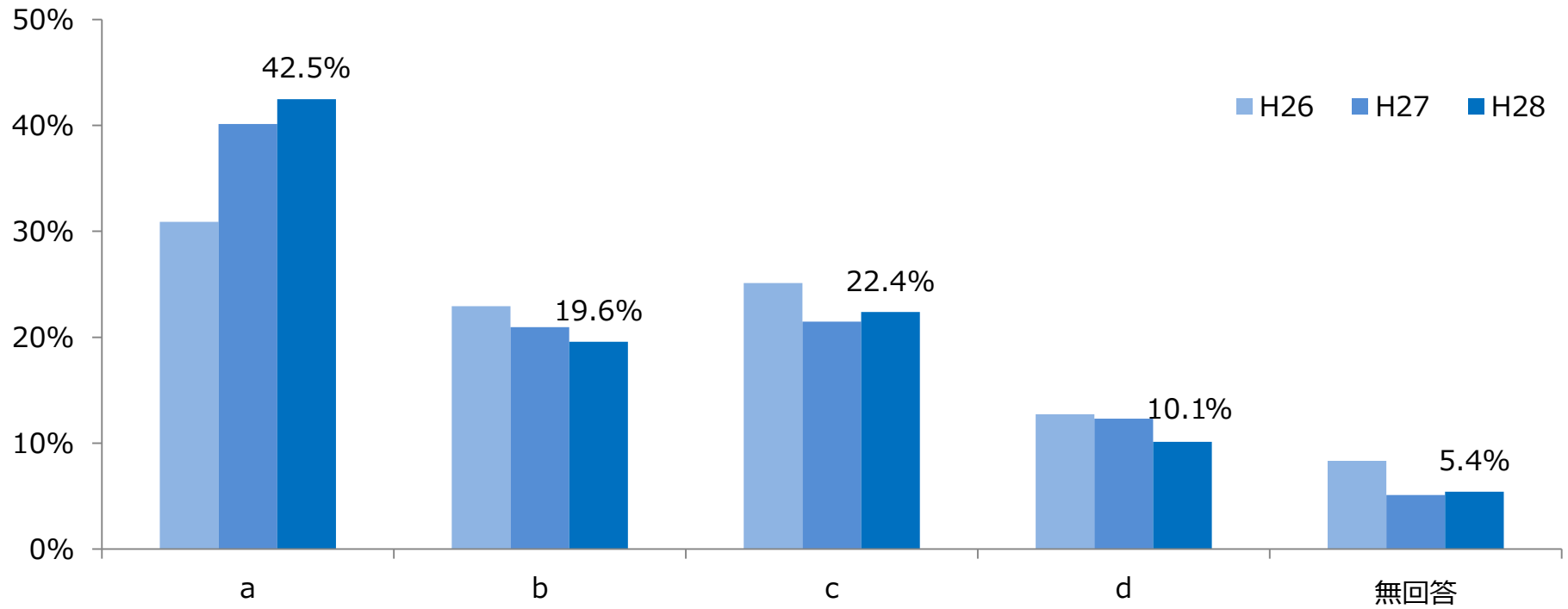
(回答数:H28年度:254, H27年度:312)

「その他」の回答例：アンコントロールな為替の影響を受けやすいから 他

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(5) 貴社のROE水準は、資本コスト（株主の要求収益率）を上回っていると思われますか。
(1つのみ選択可)

- a. 上回っている
- b. 同程度
- c. 下回っている
- d. 資本コストを把握していない

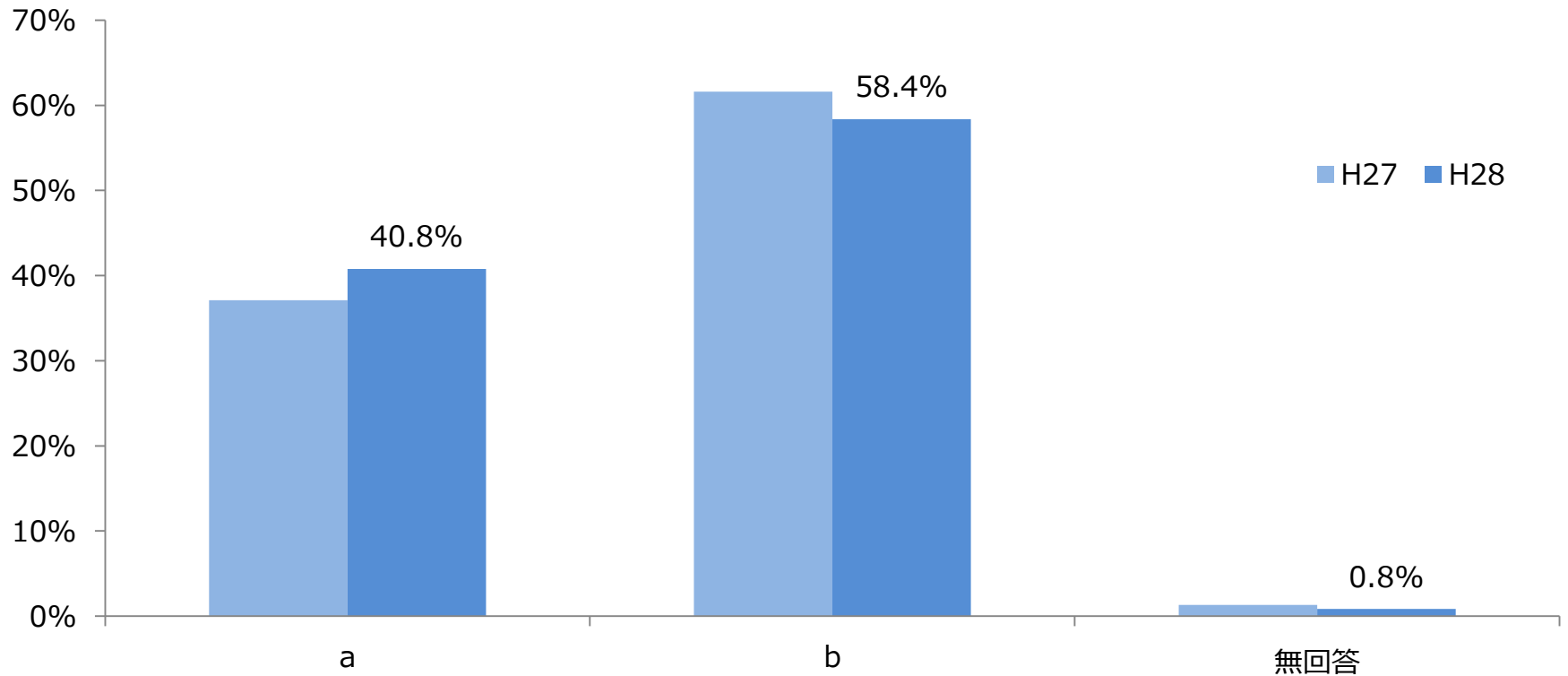


(回答数:H28年度572, H27年度:568, H26年度:589)

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(6) (5) で a・b・c を選択された企業にお伺いします。詳細な資本コスト（株主の要求収益率）の数値を算出していますか。（1つのみ選択可）

- a. 詳細数値を算出している
- b. 詳細数値までは算出していない

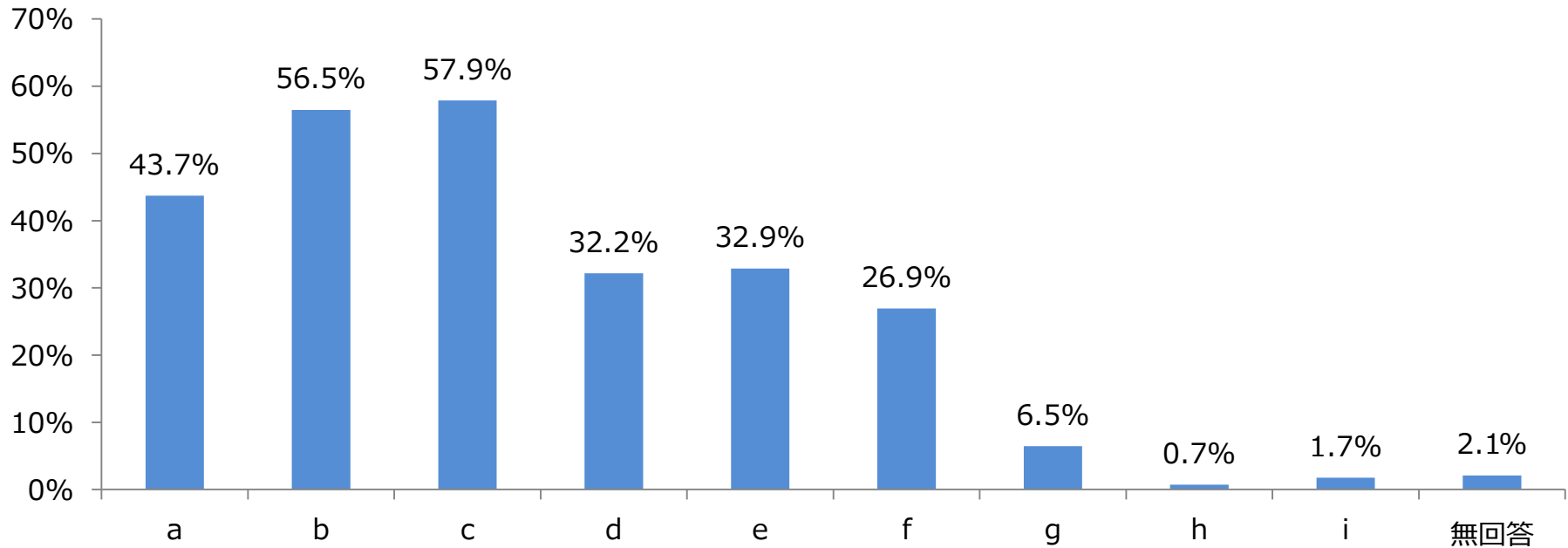


(回答数:H28年度:483, H27年度:469)

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(7) 資本効率向上に向けて重点的に実施している取り組みについてお答え下さい。
(3つまで選択可)

- a. 事業規模・シェアの拡大
- b. 製品・サービス競争力強化
- c. コスト削減の推進
- d. 採算を重視した投資
- e. 事業の選択と集中（経営ビジョンに則した事業ポートフォリオの見直し・組換え）
- f. 収益・効率性指標を管理指標として展開（全社レベルでの浸透）
- g. 借入や株主還元を通じたレバレッジの拡大
- h. 特段なし
- i. その他（具体的には



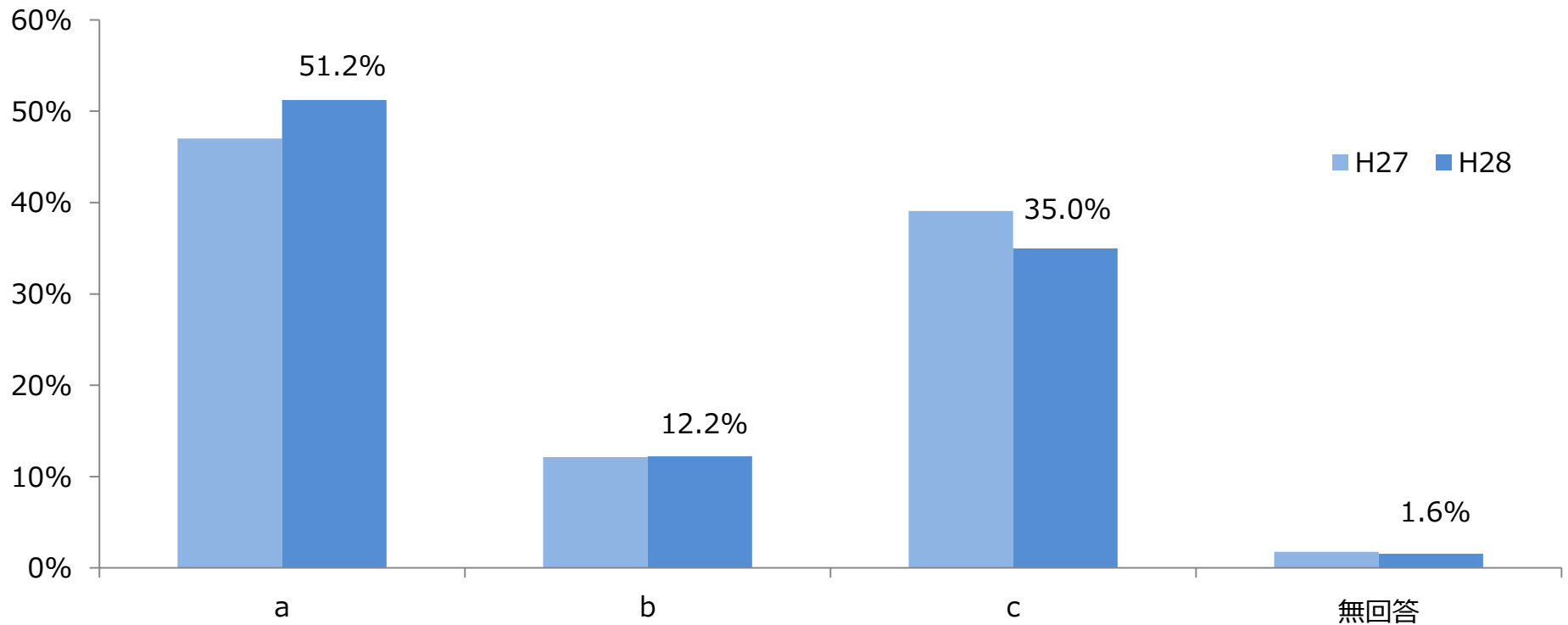
(回答数:H28年度:572)

「その他」の回答例：棚卸資産の圧縮 他

Q3. 株主還元についてお伺いします。

(1) 株主還元に関して、配当性向、株主資本配当率（D O E）、総還元性向等の目標値を設定・公表していますか。（1つのみ選択可）

- a. 目標値を設定して、公表している
- b. 目標値は設定しているが、公表していない
- c. 目標値を設定していない

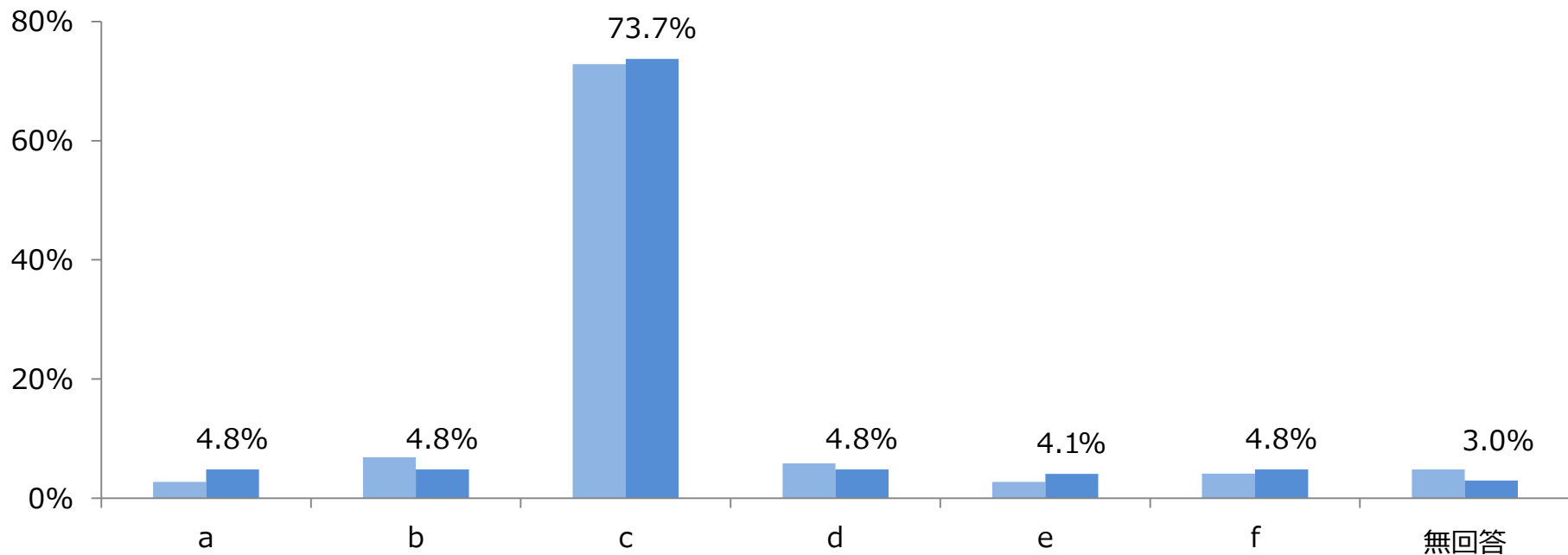


(回答数:H28年度:572, H27年度:568)

Q3. 株主還元についてお伺いします。

(2) (1) で b 又は c を選択された企業にお伺いします。株主還元の数値目標を公表されていない、または設定されていない理由をお答え下さい。(1つのみ選択可)

- a. 配当政策に制約が生じる
- b. 当期利益の振れ幅が大きく、設定・公表が困難
- c. 安定配当を方針としている
- d. 財務体質の改善を優先している
- e. 投資資金の確保を優先している
- f. その他(具体的には)



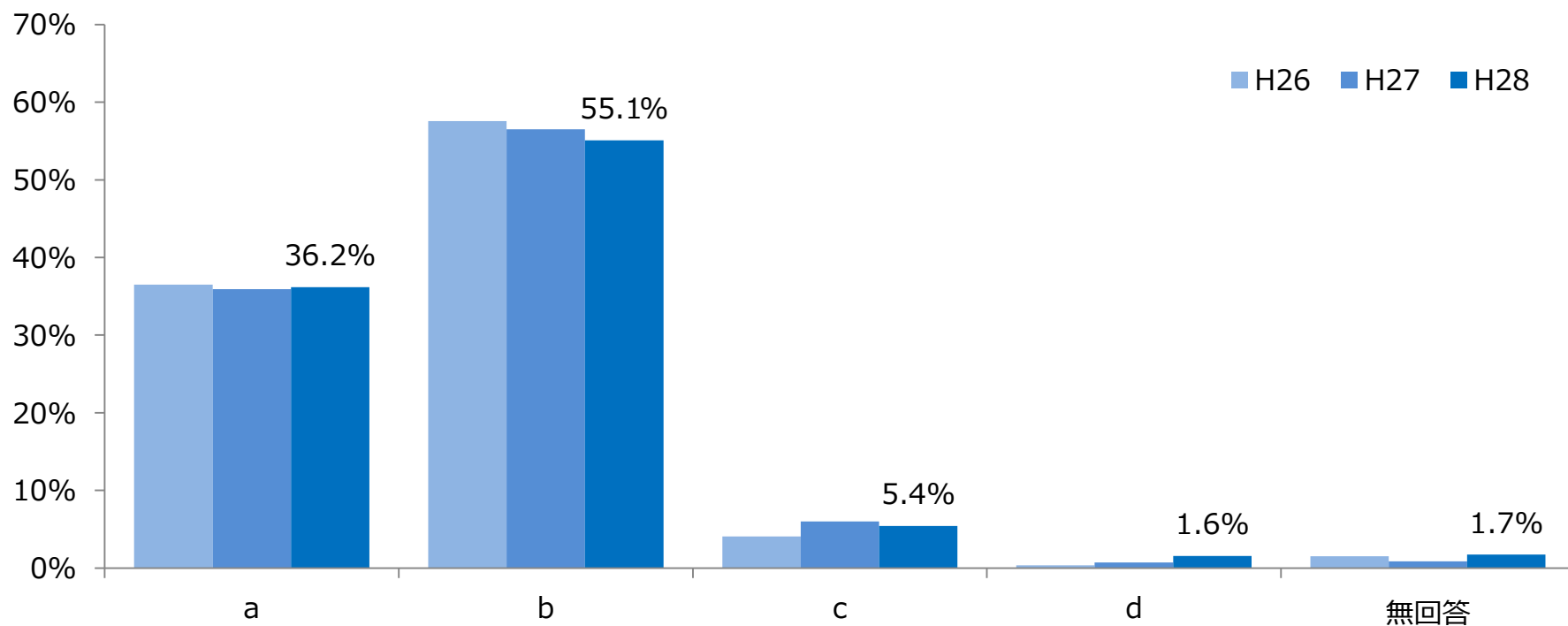
(回答数:H28年度:270, H27年度:291)

「その他」の回答例：配当金の算定基準を公表している、総合的に勘案して決定している 他

Q3. 株主還元についてお伺いします。

(3) 株主還元・配当政策に関して、資本効率や内部留保・投資の必要性の観点から投資家に対して説明を行っていますか。(1つのみ選択可)

- a. 十分行っている
- b. 一定程度行っている
- c. あまり行っていない
- d. ほとんど行っていない

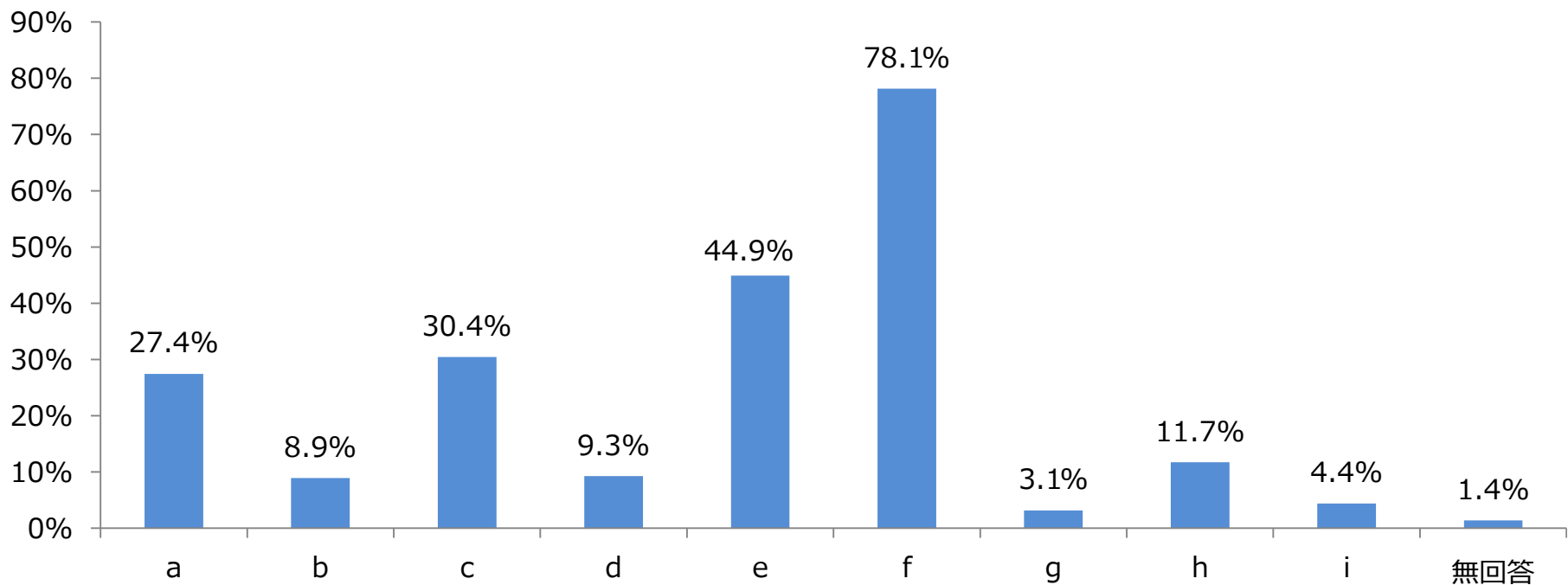


(回答数:H28年度:572, H27年度:568, H26年度:589)

Q3. 株主還元についてお伺いします。

(4) 株主還元・配当政策についてどのような観点から投資家に説明しているか
お答え下さい。(複数選択可)

- a. 投資機会の有無
- b. 余剰資金を抱えているかどうか
- c. 事業の成長ステージ
- d. 資本構成
- e. 総還元性向・配当性向の水準
- f. 株主還元・配当の安定性
- g. 株価推移
- h. ROEの水準
- i. その他（具体的には ）



(回答数:H28年度:572)

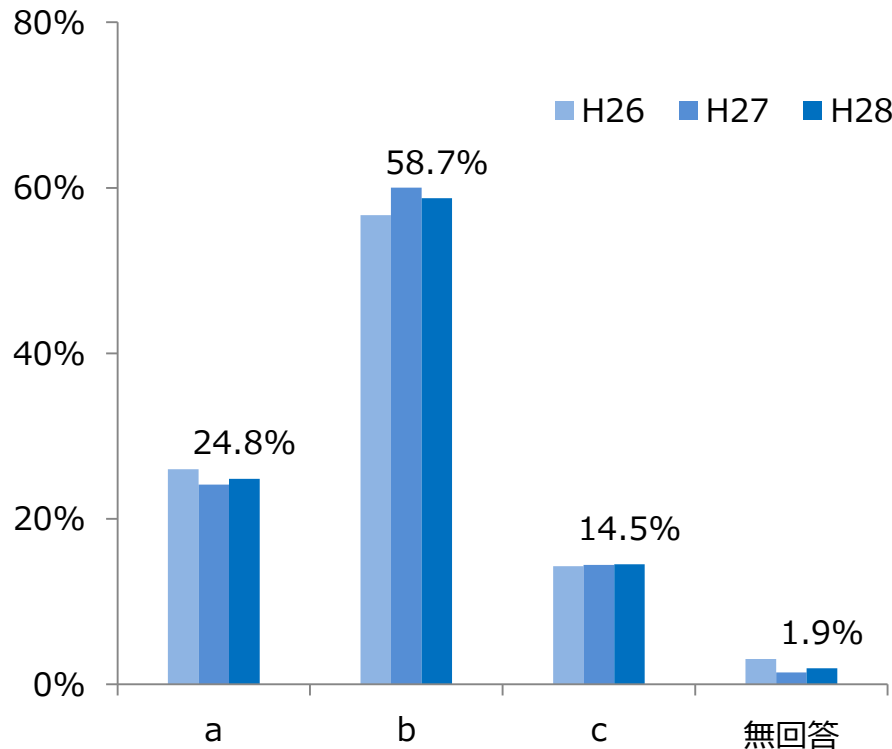
「その他」の回答例：DOEの水準、配当・投資・償還のバランス 他

Q4. 内部留保・手元資金についてお伺いします。

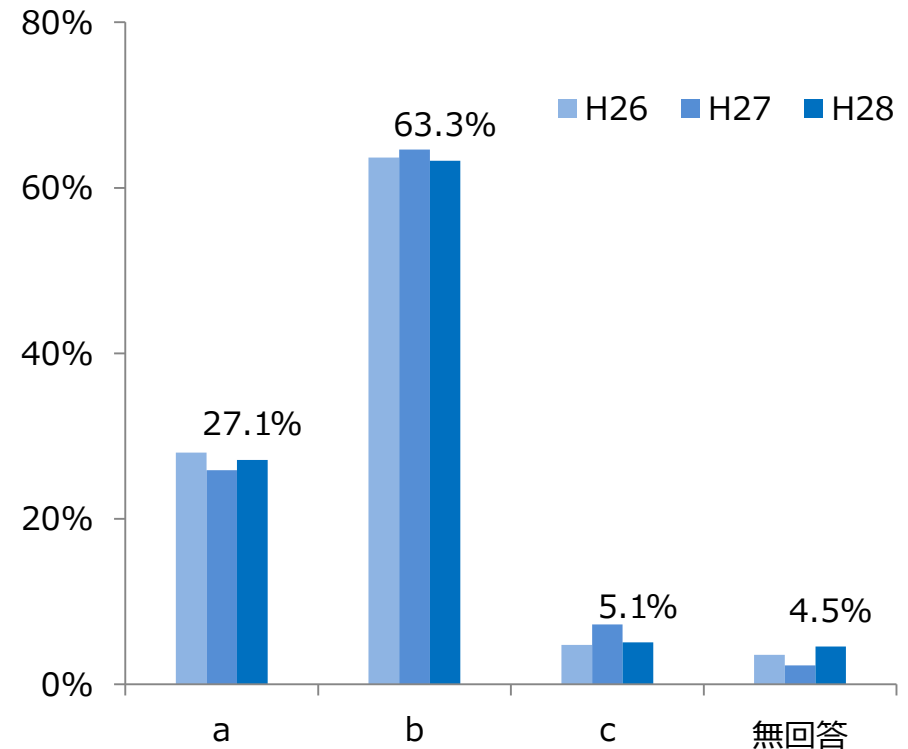
(1) 現在の貴社の①自己資本、②手元資金の水準について、どのような認識をお持ちですか。
(1つのみ選択可)

- a. 余裕のある水準と考えている
- b. 適正と考えている
- c. 不足している

【自己資本】



【手元資金】

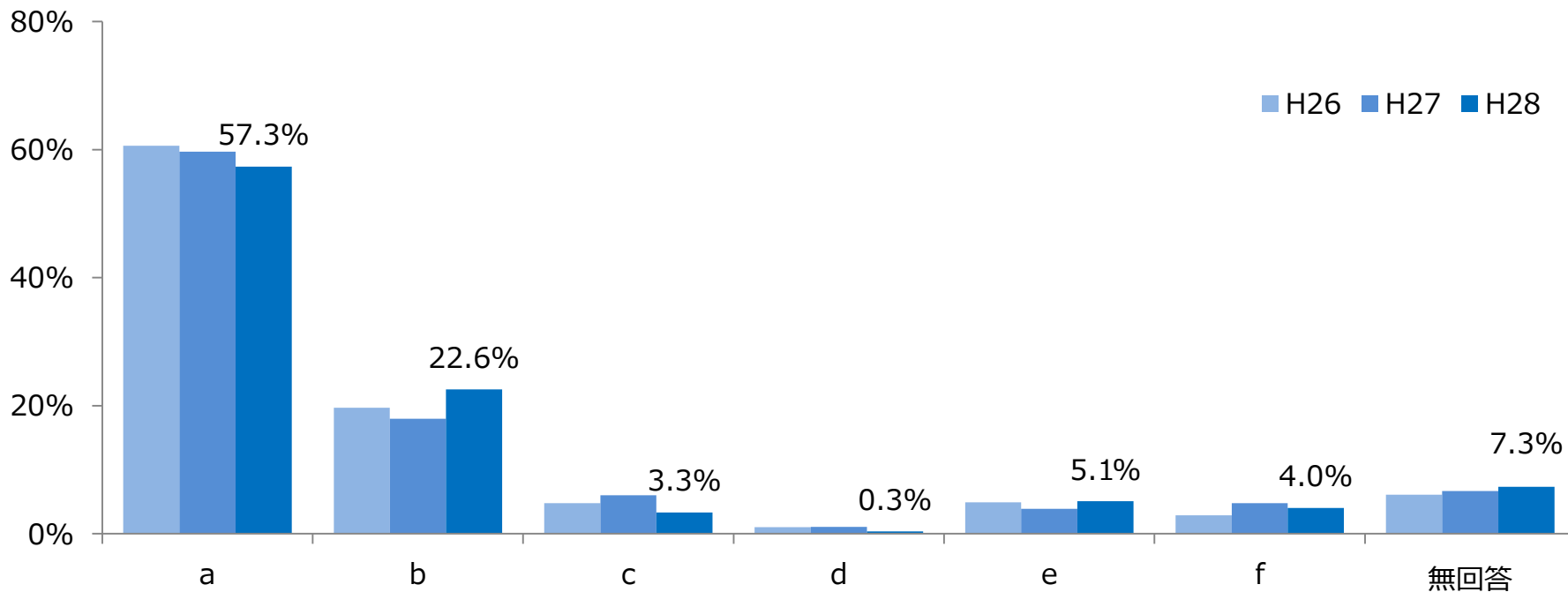


(回答数:H28年度:572, H27年度:568,H26年度:589)

Q4. 内部留保・手元資金についてお伺いします。

(2) 現在の貴社の手元資金の主な用途についてお答え下さい。(1つのみ選択可)

- a. 成長に向けた投資資金
- b. 財務安定化のための手元流動性確保
- c. 有利子負債の返済原資
- d. 株主還元の一層の充実のための原資
- e. 特に決まっていない
- f. その他（具体的には ）



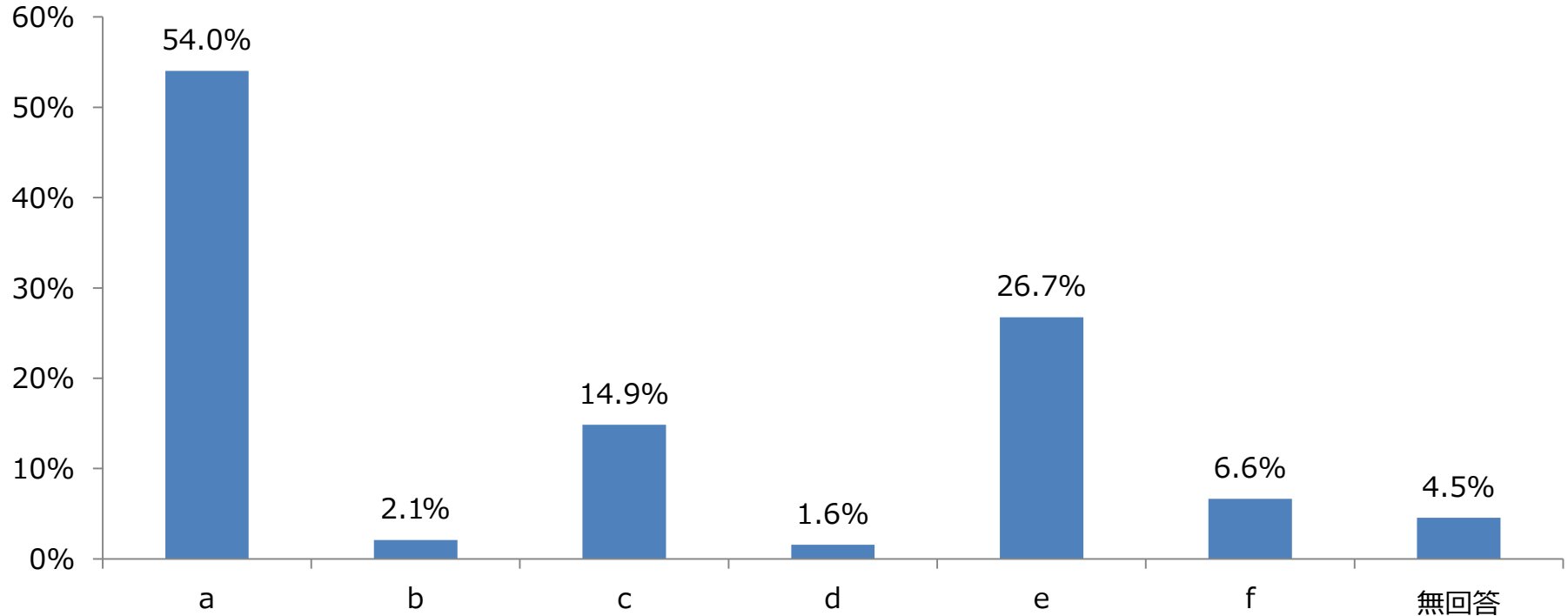
(回答数:H28年度:572, H27年度:568, H26年度:589)

「その他」の回答例：a～dを総合的に勘案し配分、運転資金 他

Q4. 内部留保・手元資金についてお伺いします。

(3) 手元資金の適切な水準についてどのように決定しているかお答え下さい。(複数選択可)

- a. 売上高や利益、運転資金、キャッシュフロー等
に対して一定の比率を目安としている
- b. 同業他社をベンチマークとしている
- c. 目標とする格付け・信用力を得るための水準を
維持している
- d. 極力増やすことを目標としている
- e. 具体的な基準があるわけではない
- f. その他（具体的には ）



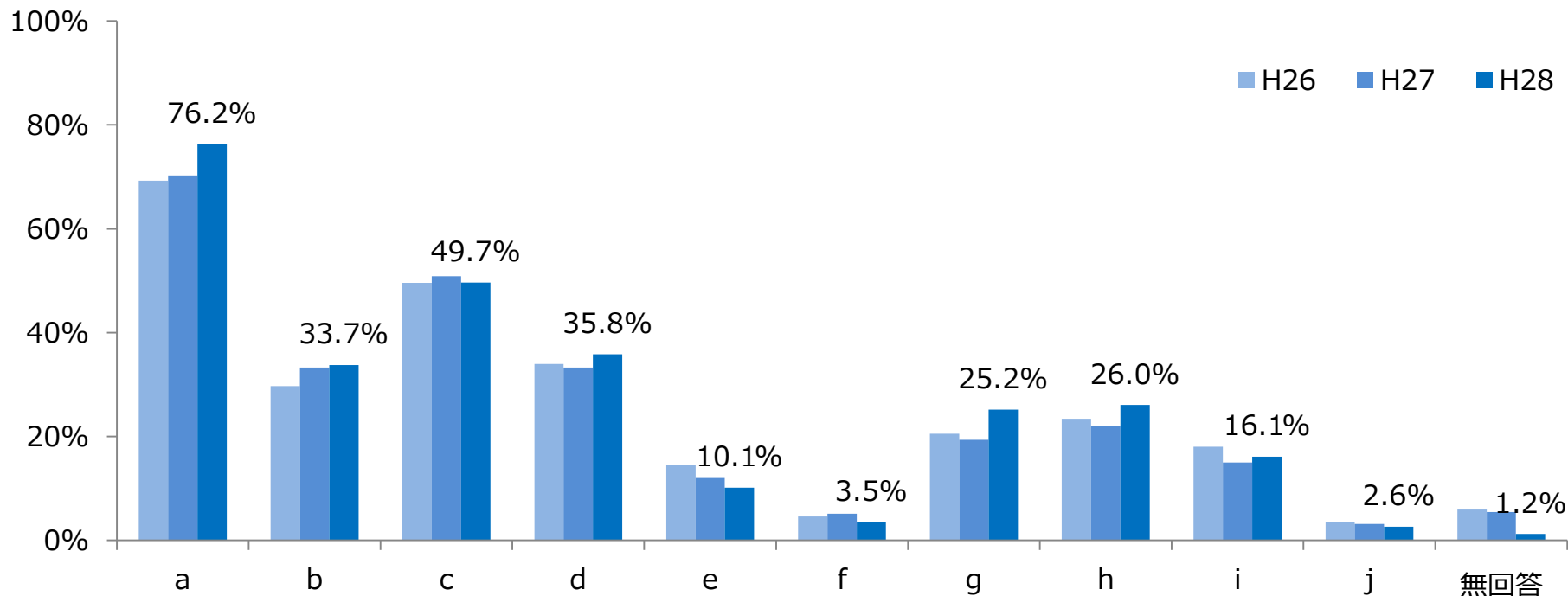
(回答数:H28年度:572)

「その他」の回答例：中長期的な投資計画から逆算している 他

Q5. 投資についてお伺いします。

(1) 投資を実行する際に重視している項目をお答え下さい。(3つまで選択可)

- a. 経営戦略との整合性
- b. シナジー効果
- c. 製品・サービスの競争力強化
- d. 事業規模・シェア拡大
- e. コスト削減につながるか
- f. 事業の多角化
- g. 将来の市場見通し
- h. 投資リスク
- i. 財務への影響
- j. その他 (具体的には)



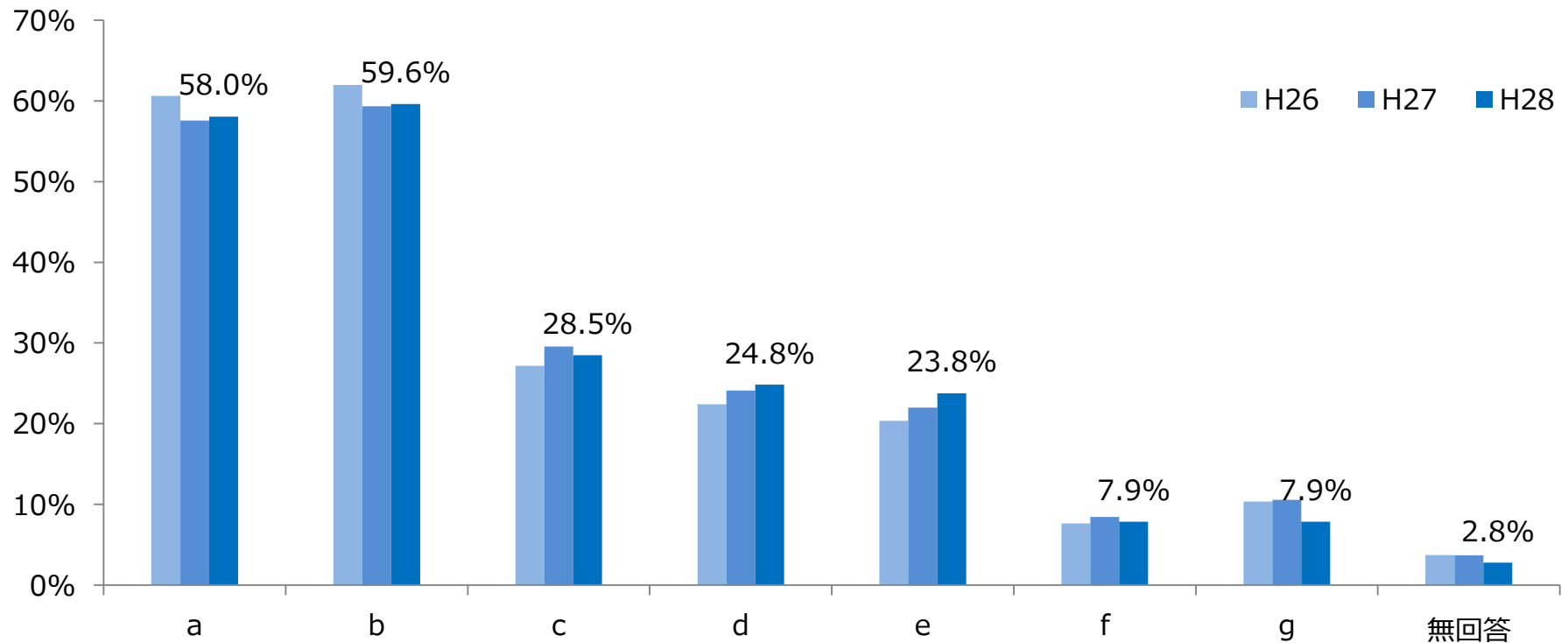
(回答数:H28年度:572, H27年度:568, H26年度:589)

「その他」の回答例：地域経済振興 他

Q5. 投資についてお伺いします。

(2) 投資の意思決定の判断基準として重視している指標をお答え下さい。(複数選択可)

- a. 売上・利益の増加額
 b. 事業投資資金の回収期間
 c. 投下資本利益率 (R O I)
 d. 内部収益率 (I R R)
 e. 正味現在価値 (N P V)
 f. 判断基準は特に設定していない
 g. その他 (具体的には)



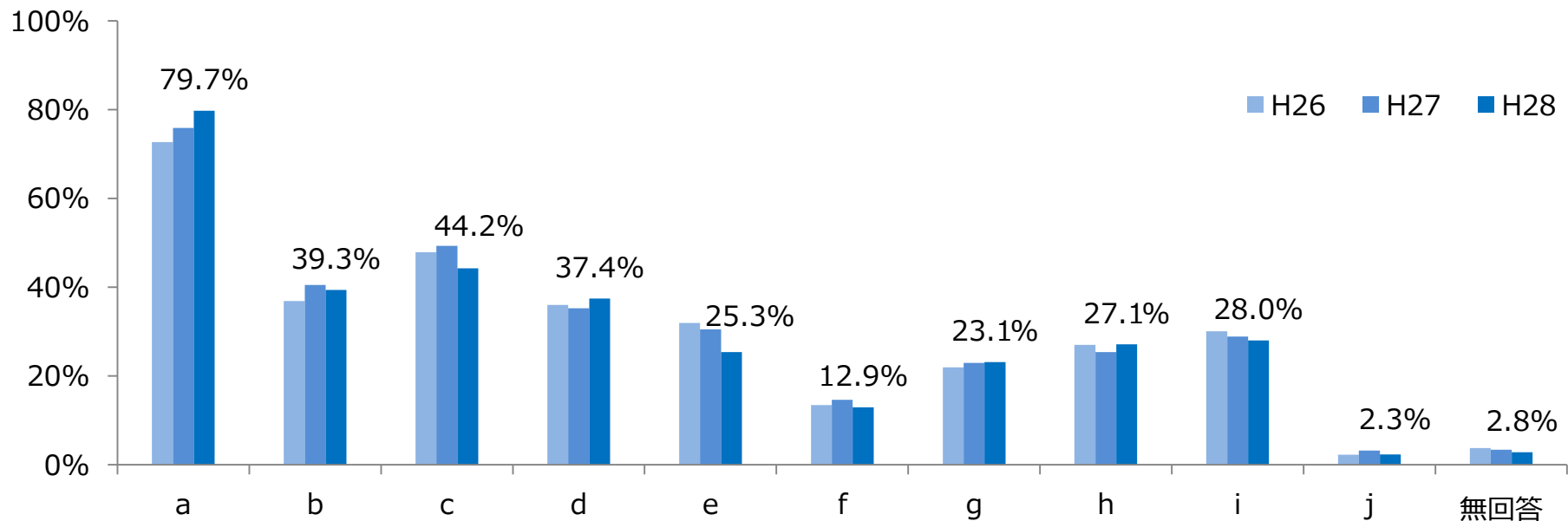
(回答数:H28年度:572, H27年度:568, H26年度:589)

「その他」の回答例：EBITDA、EVA、CFROI、市場の成長性、投資事業自体の成長性 他

Q5. 投資についてお伺いします。

(3) 投資を実施する際に、投資家への説明にあたり重視している内容をお答え下さい。
(複数選択可)

- a. 経営計画における位置づけ
- b. シナジー効果
- c. 競争力に与える影響
- d. 投資の前提となる市場見通し
- e. 財務への影響
- f. 投資のリスク
- g. 投資の収益化の時期
- h. 投資の収益貢献額
- i. 投資の採算性
- j. その他（具体的には ）



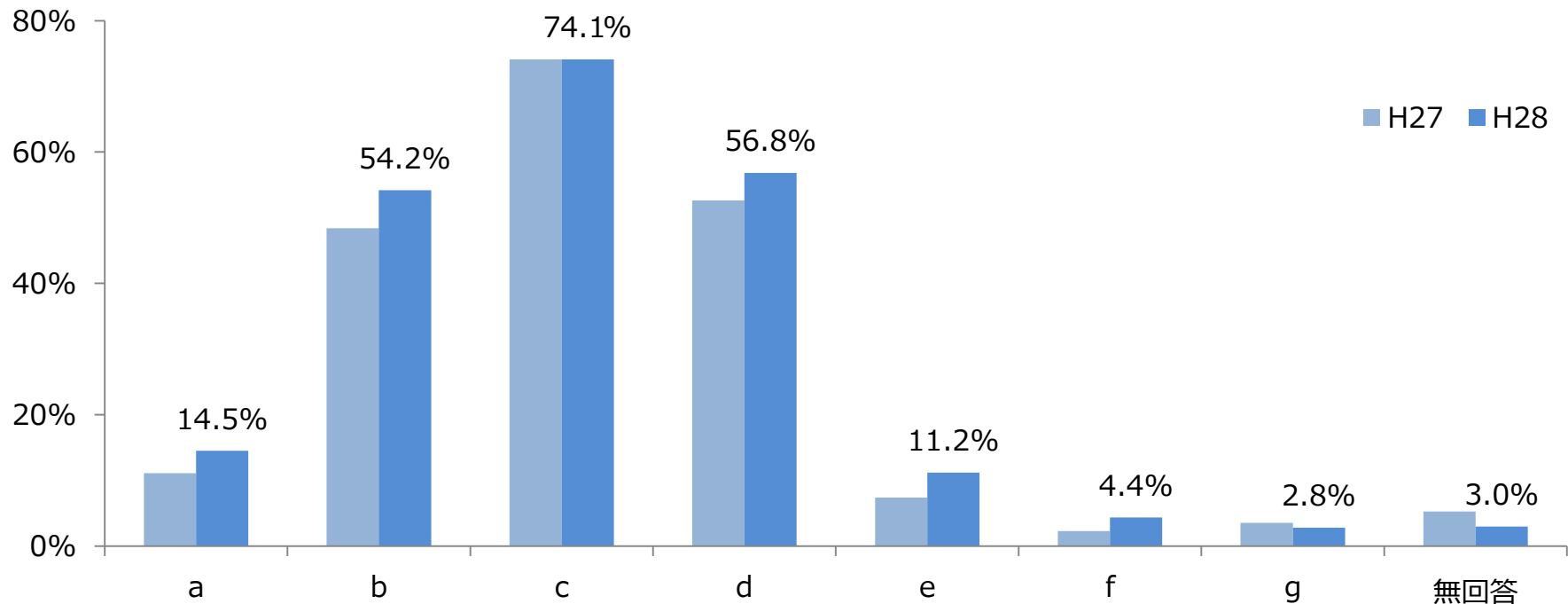
(回答数:H28年度:572, H27年度:568, H26年度:589)

「その他」の回答例：成長性、公共性 他

Q6. 投資家との対話についてお伺いします。

(1) コーポレートガバナンス・コードの策定を踏まえ、投資家と接する際に従来と比べて重点的に取り組んでいることは何ですか。(3つまで選択可)

- a. 投資スタイル・投資哲学の把握
- b. 対話機会の増加
- c. 対話内容の充実
- d. 対話内容の経営層へのフィードバック
- e. 株主総会議案に関する対話の実施
- f. 株主総会の出席株主増加に向けた取り組み
- g. その他（具体的には ）



(回答数:H28年度:572, H27年度:568)

「その他」の回答例：中長期的な経営方針に関する理解促進 他

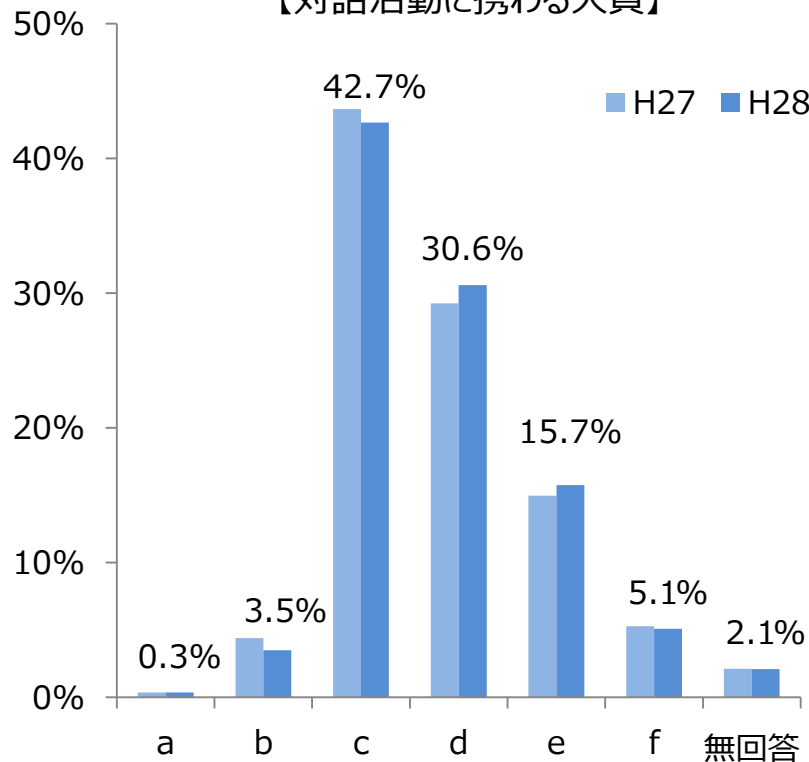
Q6. 投資家との対話についてお伺いします。

(2) 貴社において、①対話活動に携わる人員は何人いますか（補助的な業務のみを行う人員を除く）。②また対話活動を専任で行う人員は何人いますか。（1つのみ選択可）

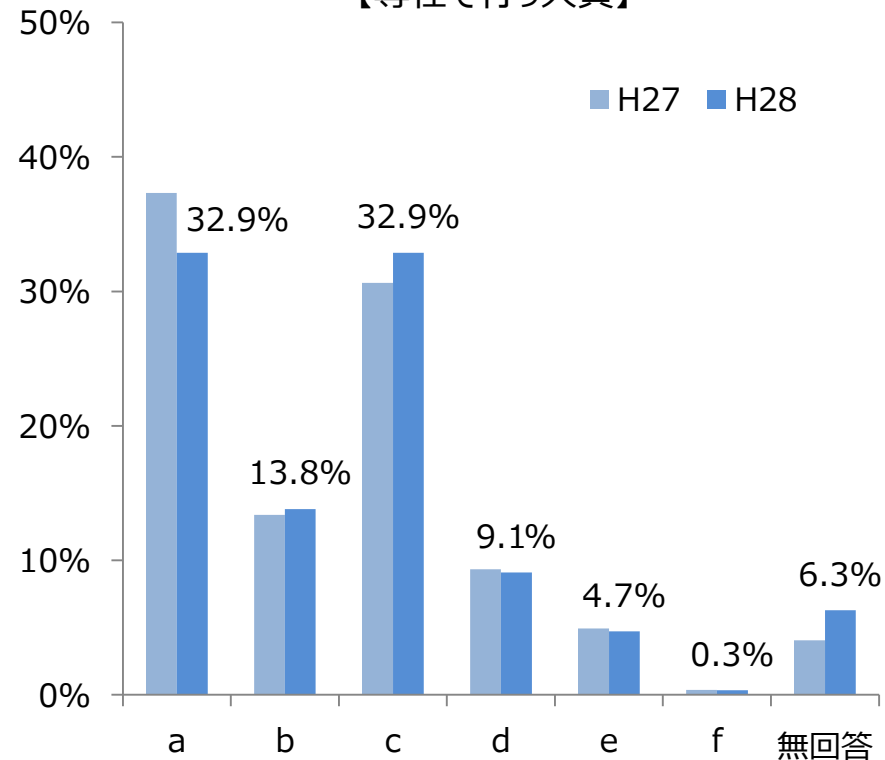
- a. 0人
- b. 1人
- c. 2～3人

- d. 4～5人
- e. 6～10人
- f. 11人以上

【対話活動に携わる人員】



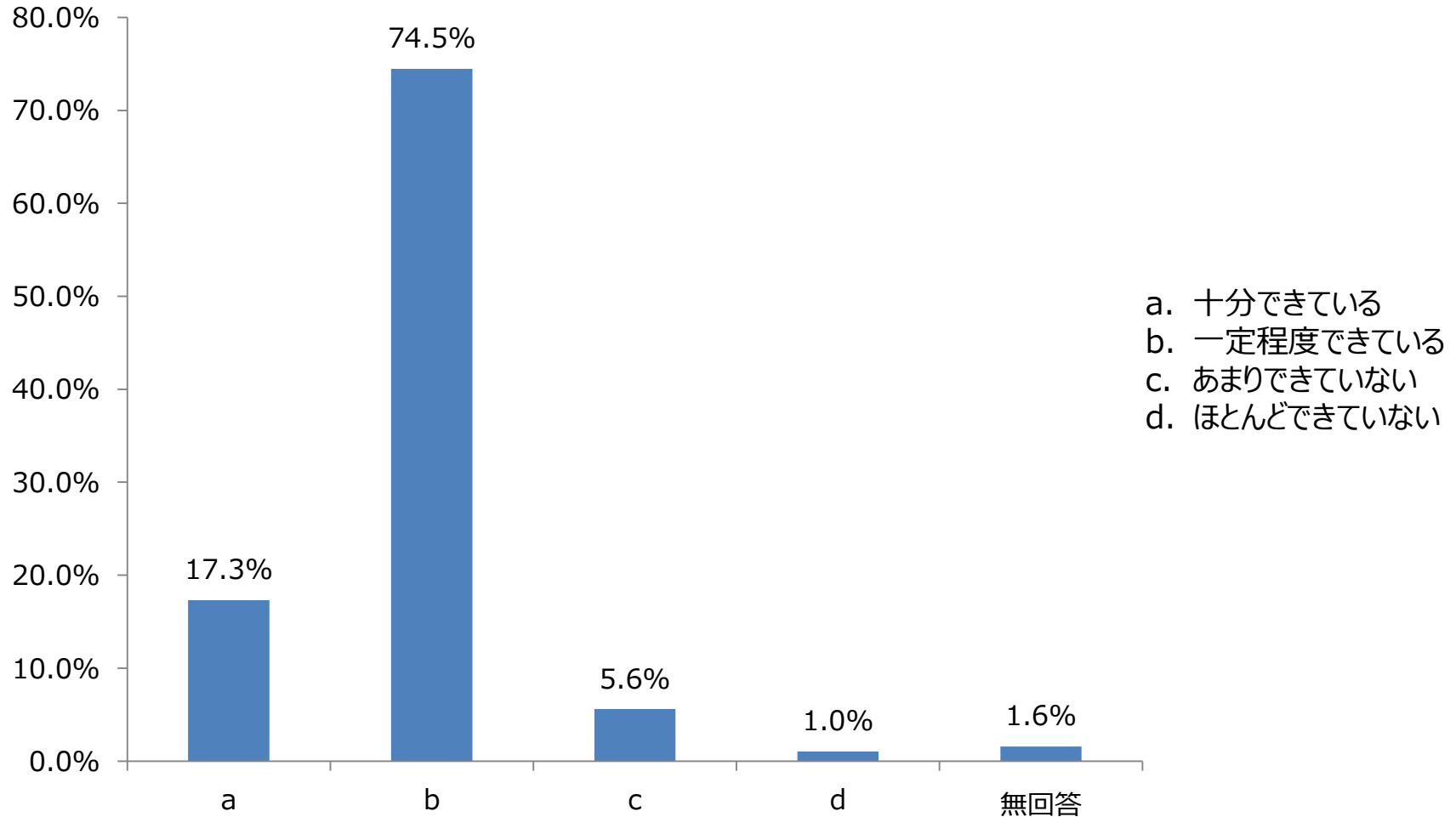
【専任で行う人員】



(回答数:H28年度:572, H27年度:568)

Q6. 投資家との対話についてお伺いします。

(4) 中長期的な株式価値向上につながる意味のある建設的な対話ができていると感じますか。
(1つのみ選択可)

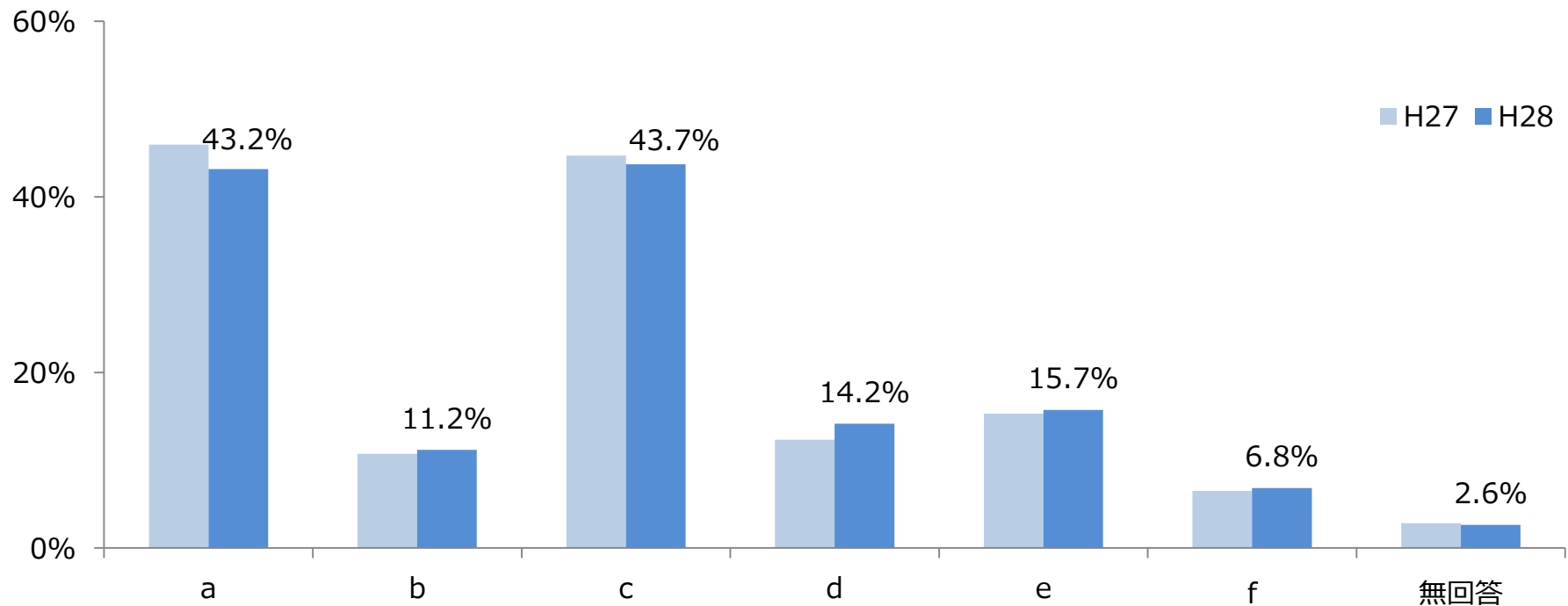


(回答数:H28年度:572)

Q6. 投資家との対話についてお伺いします。

(5) 株主との対話を充実させるうえでの自社の課題をお答え下さい。(複数選択可)

- a. 対話に割けるリソースの不足
- b. 投資家とのコンタクトが難しい
- c. 開示できる情報が限られる
- d. 対話を行うスキルの不足
- e. 特段なし
- f. その他（具体的には)

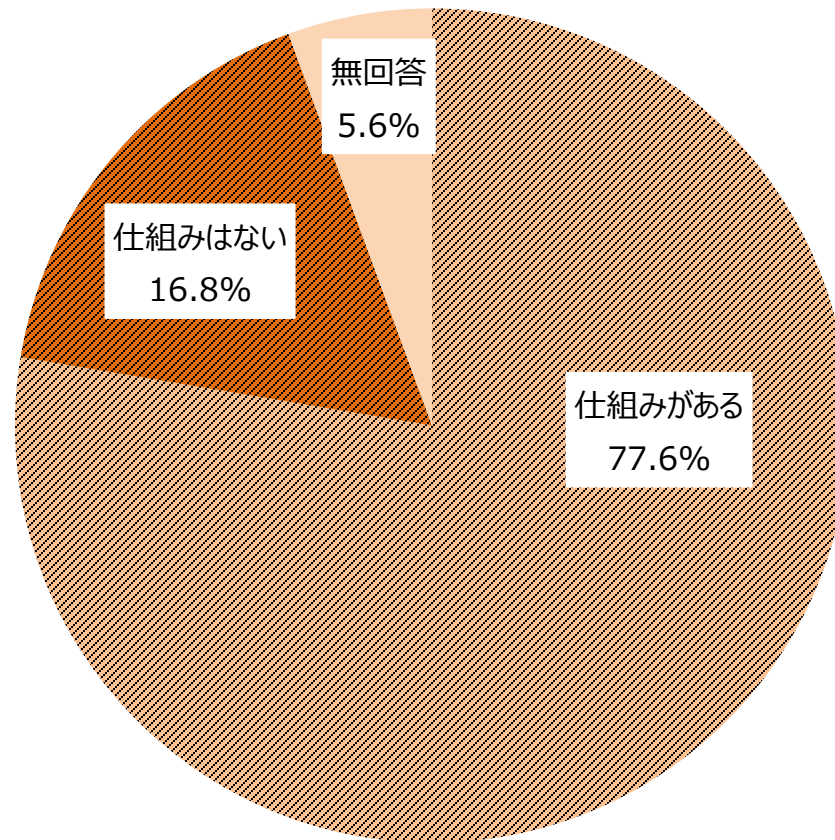


(回答数:H28年度:572, H27年度:568)

「その他」の回答例：公平性の実現、カバレッジアナリストが乏しい、外国語対応 他

Q6. 投資家との対話についてお伺いします。

(6) ①対話内容を経営層で共有化する仕組みがありますか。(1つのみ選択可)

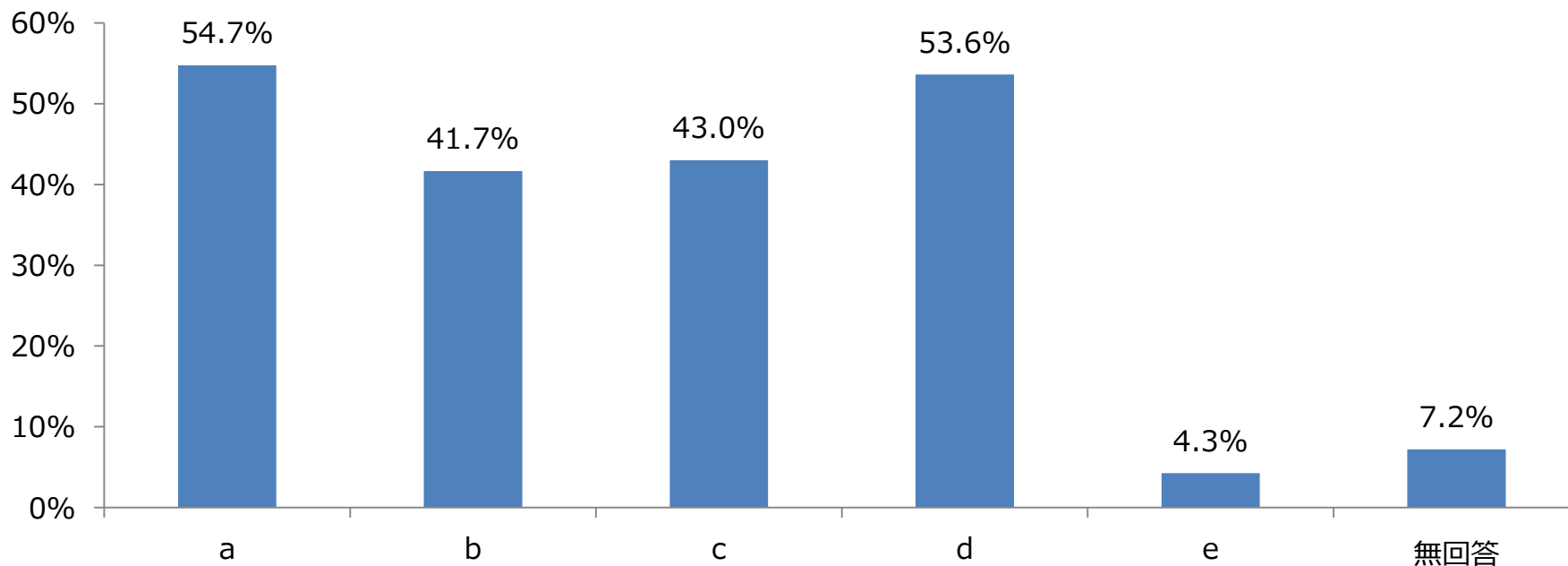


(回答数:H28年度:572)

Q6. 投資家との対話についてお伺いします。

(6) ② (対話内容を) 共有化する仕組みがある場合は、どのような体制を整備しているか
お答え下さい。(複数選択可)

- a. 定期的に経営陣が投資家と対話を行い、経営陣内で共有化している
- b. 取締役会や経営会議でIR担当者が報告する機会を設けている
- c. 経営トップに直接定期的に報告する機会を設けている
- d. レポート形式にして定期的に経営陣へ送付している
- e. その他(具体的には)



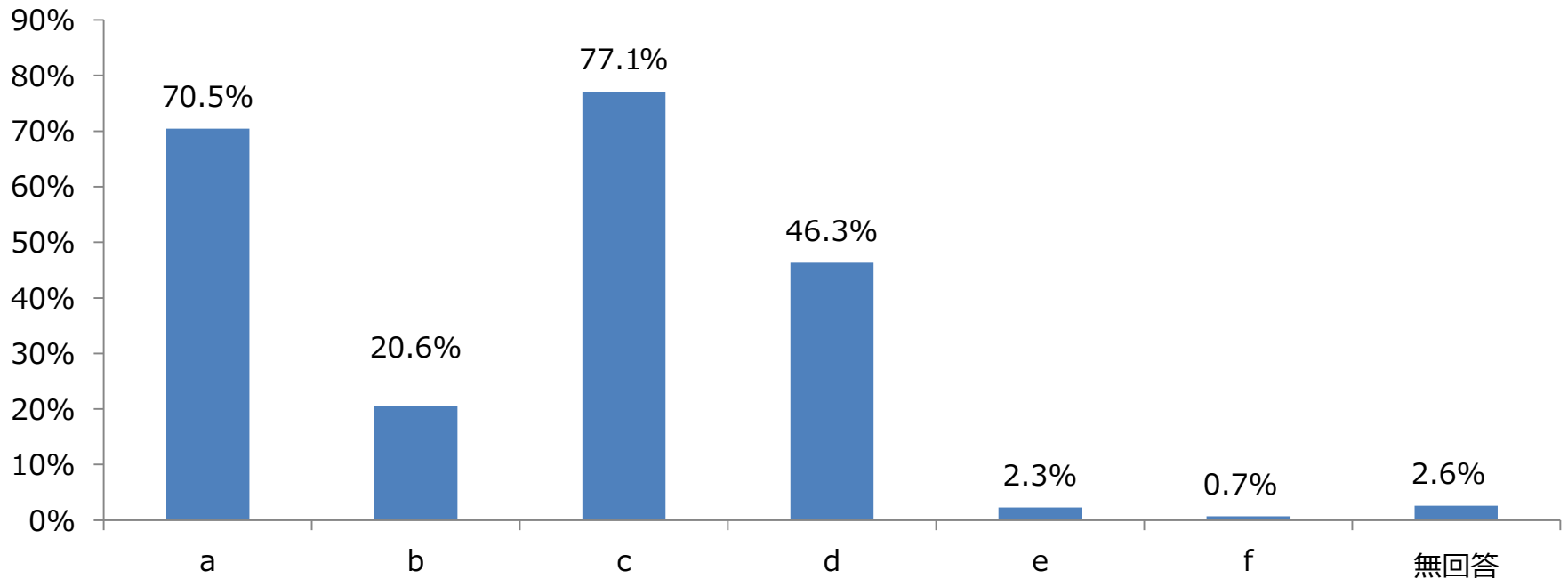
(回答数:H28年度:444)

「その他」の回答例：個別の対話内容をイントラネットで共有 他

Q6. 投資家との対話についてお伺いします。

(7) 投資家との対話において良いと感じることについてお答え下さい。(複数選択可)

- a. 経営戦略等中長期的な視野に立った質問・議論の増加・充実
- b. ESG等の非財務情報に関する質問・議論の増加・充実
- c. 投資家の考えに対する理解が深まり、相互理解につながる
- d. 経営に活かすことができるような気づきを得られる
- e. 特段なし
- f. その他（具体的には)



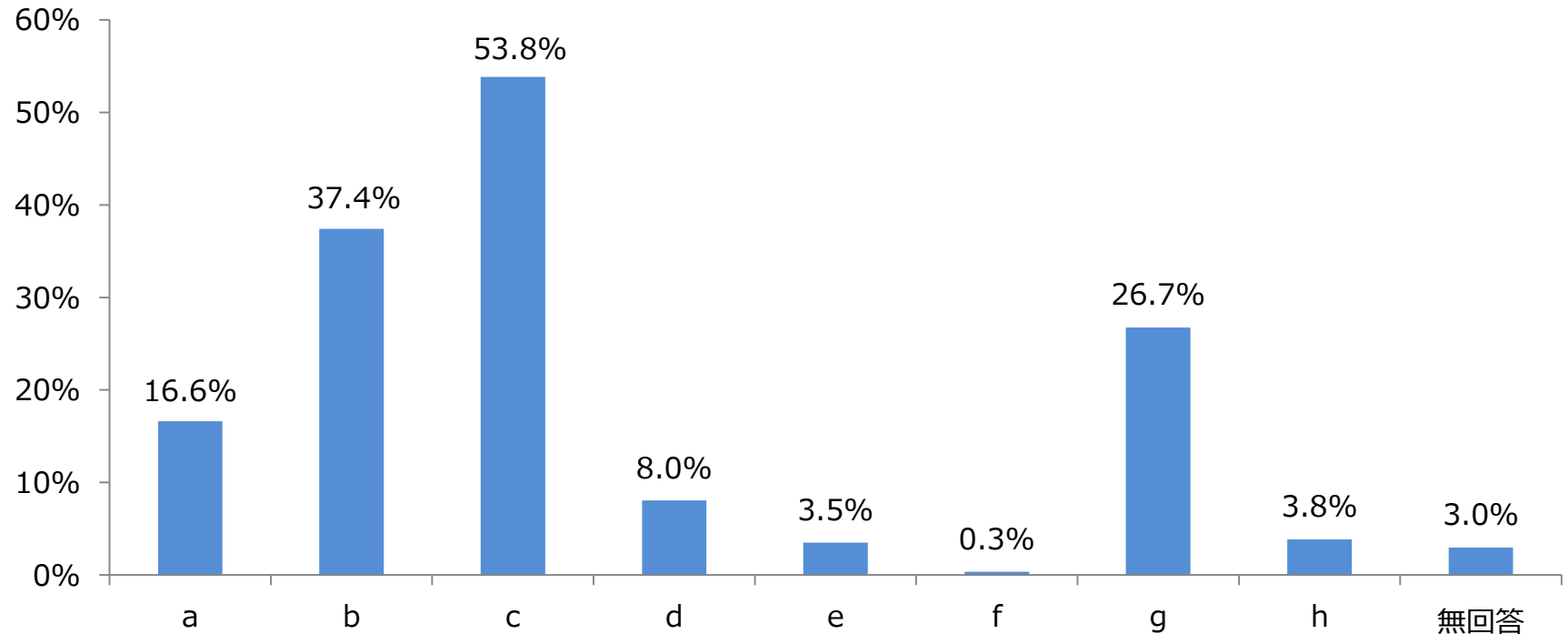
(回答数:H28年度:572)

「その他」の回答例：総会議案の十分な理解浸透、製品の特長や強みを直接伝えることができる 他

Q6. 投資家との対話についてお伺いします。

(8) 対話において投資家に対して感じる課題についてお答え下さい。(複数選択可)

- a. 企業側に対する一方的な提案や要求
 b. 企業に対する分析や理解が浅い
 c. 短期的なテーマのみに基づく対話の実施
 d. 実績作りのための形式的な対話が多い
 e. 他のステークホルダーを軽視するような提案
 f. 対話に応じない
 g. 特段なし
 h. その他（具体的には ）



(回答数:H28年度:572)

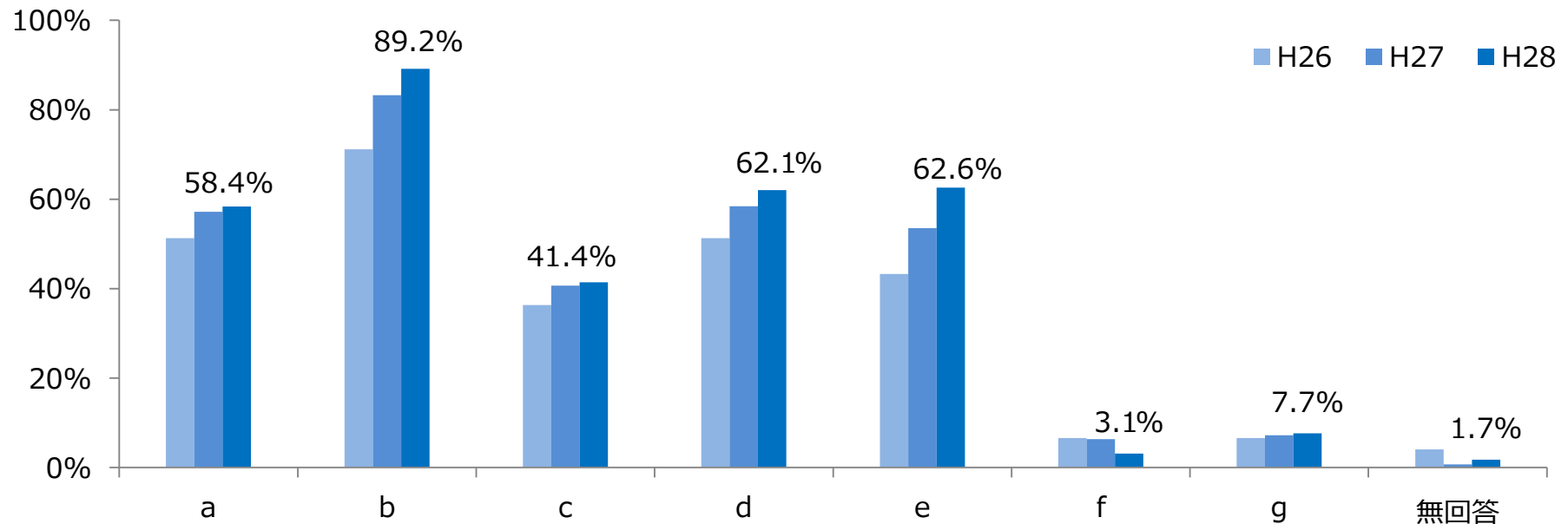
「その他」の回答例： 対話の内容が特定の製品やセグメントに偏る、一律的な株主還元要求 他

Q7. 株主総会における議決権行使についてお伺いします。

(1) 株主の議決権行使を充実させるために、どのようなことに取り組んでいますか
(今後の予定も含む)。(複数選択可)

- a. 集中日を回避した株主総会の開催
- b. 招集通知の早期発送(早期開示)
- c. 議案の説明充実
- d. インターネットによる議決権投票
- e. 議決権電子行使プラットフォームへの参加
- f. 有価証券報告書の早期開示
- g. その他(具体的には)

※議決権電子行使プラットフォーム：非居住者投資家や年金基金・投資信託等の機関投資家の議決権行使をサポートする目的で、東京証券取引所、日本証券業協会および米国ADP社(現Broadridge社)が共同で、「機関投資家向け議決権電子行使プラットフォーム」を運営する株式会社ICJを2004年7月に設立し、2005年12月期決算銘柄からサービスを開始したものです。



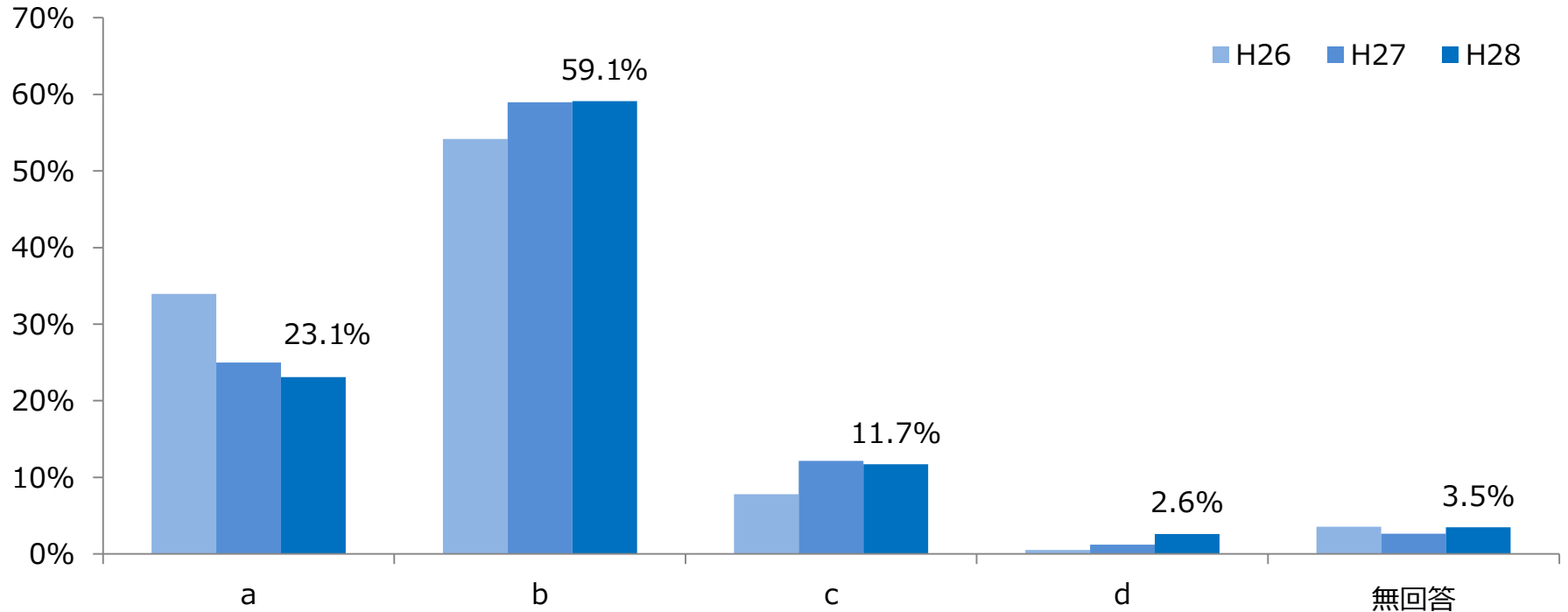
(回答数:H28年度:572, H27年度:568, H26年度:589)

「その他」の回答例：招集通知の英訳、招集通知発送前に自社HPに掲載、個人株主説明会の開催、議決権行使促進はがきの発送 他

Q7. 株主総会における議決権行使についてお伺いします。

(2) ①投資家に対し、個別議案の説明を十分に行っていますか。(1つのみ選択可)

- a. 十分に説明している
- b. 一定程度説明している
- c. あまり十分とは言えない
- d. 説明は不十分

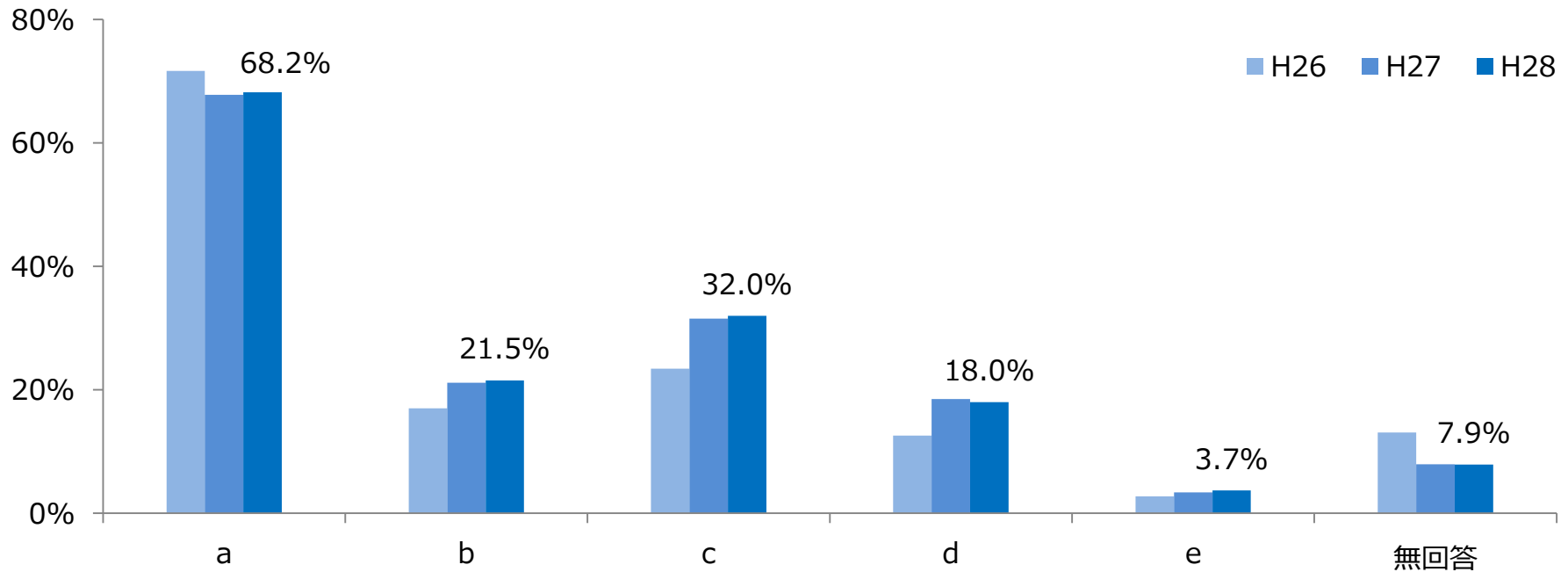


(回答数:H28年度:572, H27年度:568, H26年度:589)

Q7. 株主総会における議決権行使についてお伺いします。

(2) ②投資家に対し、議案の説明充実に向けて、重点的に取り組まれているものをお答え下さい。(複数選択可)

- a. 招集通知の議案内容の説明充実
- b. 総会前の議案の事前説明の実施・充実
- c. 対話を通じた継続的なスタンスの説明
- d. ホームページ等を活用した議案の説明
- e. その他(具体的には)

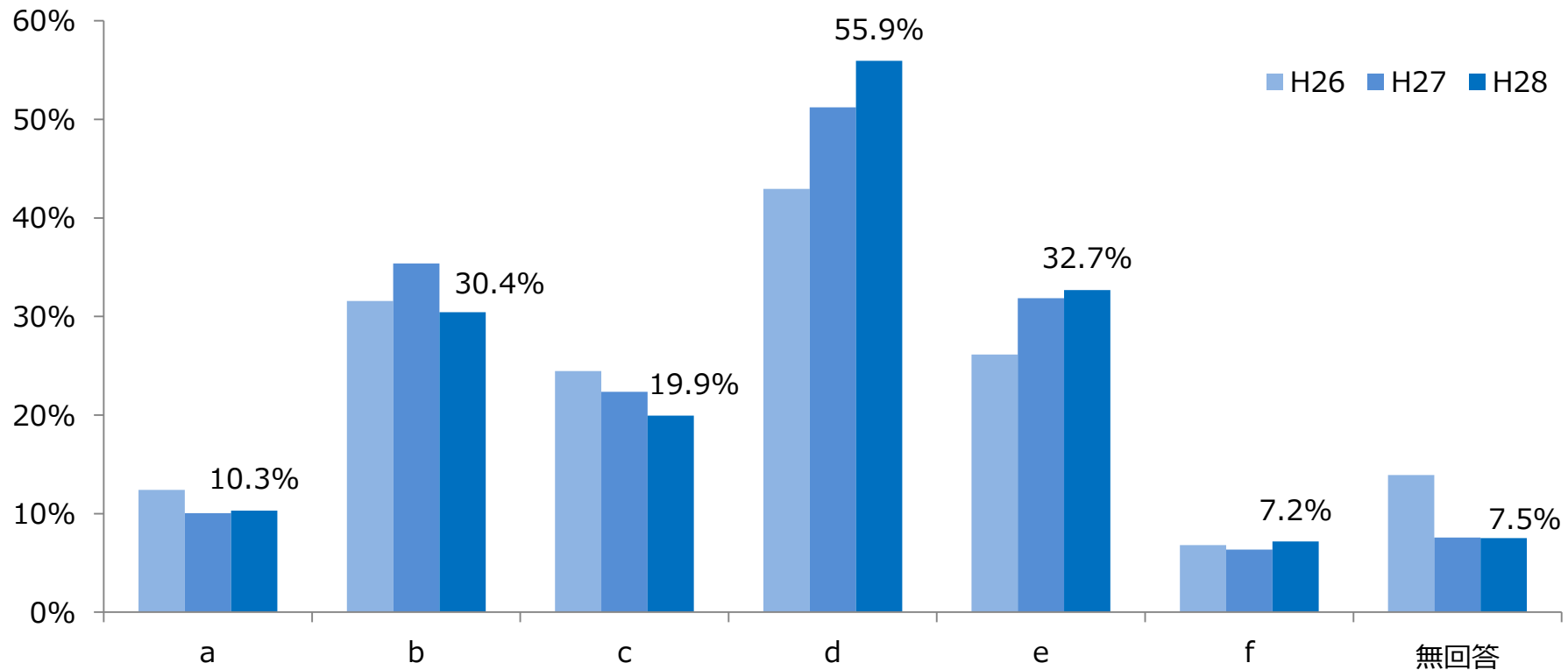


(回答数:H28年度:572, H27年度:568, H26年度:589)

Q7. 株主総会における議決権行使についてお伺いします。

(3) 投資家の議決権行使に関して、課題であると感じることは何ですか。(3つまで選択可)

- a. 議決権を行使しない投資家が多い
 b. 実質株主がわからない
 c. 議案内容等について、投資家と十分な対話ができない
 d. 議決権行使助言会社の判断に影響を受けやすい
 e. 議案に対する株主の賛否判断の理由がわからない
 f. その他（具体的には ）

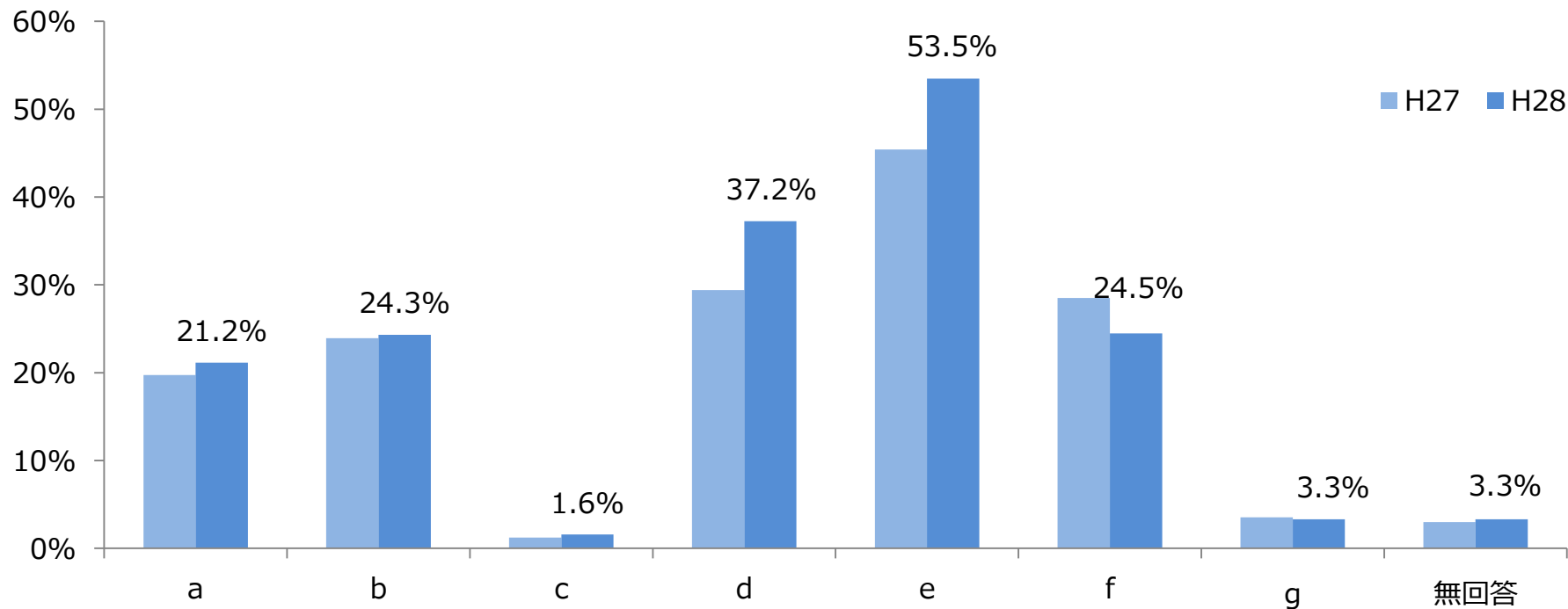


(回答数:H28年度:572, H27年度:568, H26年度:589)

Q7. 株主総会における議決権行使についてお伺いします。

(4) 過年度に反対が多かった議案に対して、どのような取り組みを実施していますか。
(複数選択可)

- a. 招集通知書への説明充実
- b. 投資家との対話
- c. 議案の修正・取り下げ
- d. 反対株主の分析
- e. 反対理由の分析
- f. 特段なし
- g. その他（具体的には



(回答数:H28年度:572, H27年度:568)

「その他」の回答例：議決権行使助言会社への説明、機関投資家に対する説明文書の追加公表 他